
大学獣医学部の誘致に関する意識調査結果について

—愛媛県内高校1年生の進路に関する意識を分析する—



政策研究報告vol.14

平成20年9月

企画課政策研究室

はじめに

今治市では、架橋後の地域振興の受け皿として、新都市開発整備事業を実施し、獣医師を養成する大学の誘致に取り組んでいる。

しかし、大学の獣医学部は、約40年間にわたって学生の定員が規制され、新しい大学の設置や定員の増員が認められていないため、全国930人の定員の内、西日本には国公立大学のみ165人分、わずか18%しか定員がなく、四国や瀬戸内海沿岸地域に獣医学部は1校も存在していない。さらに、今後、四国ブロックにおける獣医師は、産業系、小動物系共に不足すると予想されていることから、愛媛県と共同で構造改革特区提案を行い、地域を限った規制の解除をお願いしているところである。

そこで、将来進学を希望する高校生に大学の獣医学部に関する意識を調査することで、県内の獣医師希望者に、獣医師養成機関の立地偏在に伴う不利益はないのか、教育の機会均等は確保されているのか、ということをも明らかにする。

もくじ

【要旨】	(1)
第1 政策研究の意図	(2)
1 研究の背景	(2)
2 大学獣医学部の立地現状	(2)
3 調査の目的	(3)
第2 高校生の意識調査の結果	(4)
1 大学獣医学部の誘致に関する意識調査の結果(高校1年生)	(4)
1) 調査方法	(4)
2 調査結果の分析	(5)
1) 獣医師に対する印象	(5)
2) 獣医学部への志向の状況	(5)
3) 進路の希望	(6)
4) 進学先を選定する条件	(11)
5) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望	(12)
6) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合のメリット	(13)
7) 今治市の獣医学部誘致への期待	(14)
8) 獣医学部に関する意見・感想	(15)
9) その他言いたいことなど	(19)
10 考察	(21)
第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見	(22)
1 調査方法	(22)
2 調査結果	(22)
1) 獣医学部への進学希望の状況	(22)
2) 獣医学部への進学希望の断念の状況	(23)
3) 獣医学部への進学希望を断念する理由	(23)

4) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化	(24)
3 考察	(27)
第5 愛媛県外の高校進路指導担当教諭の意見	(28)
1 調査方法	(28)
2 調査結果	(28)
1) 獣医学部への進学希望の状況	(28)
2) 獣医学部への進学希望の断念の状況	(28)
3) 獣医学部への進学希望を断念する理由	(29)
4) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化	(29)
3 考察	(31)
第5 今治市に大学獣医学部の設置を！	(32)
1 獣医学部の設置の趣旨	(32)
2 獣医学部の立地偏在の解消と教育の機会均等の確保	(33)
3 今治市に獣医学部を立地する意義	(34)
4 構造改革特別区域計画の目標	(35)
5 獣医学部の誘致が及ぼす経済的社会的効果	(35)
6 今治市に大学獣医学部の設置を！	(35)
○ 参考資料	
◎大学獣医学部（科）の誘致に関する意識調査	(36)
◎高校進路指導担当教諭の自由意見	(39)
◎（参考）獣医師養成系大学の偏在	(42)
◎（参考資料）平成19年度の獣医学科の志願者動向	(43)
◎（参考資料）獣医学部で取得可能な資格	(43)
◎構造改革特区提案申請の内容	(44)
◎大学、短期大学への学部別進学者数（平成15年3月卒+平成14年3月以前卒）	(45)
◎意識調査配布先高等学校一覧	(48)

【要 旨】

本研究によって得られた意識調査の結果の要旨は、以下のとおりである。

- 1) 獣医学部への進学希望については、301人が志望しているが、その内71% (216人) の高校生が、「入試倍率」や「遠くの大学」理由で実際の進学は難しいであろうと考えている
- 2) 男女別の志望人数はほぼ拮抗しており、女性比率が半分近くに上っている。
- 3) 進路の希望の全体の傾向をみると、文系が6割 (3,494人、59.7%)、理系が4割 (2,358人、40.3%) と文系の進学先の人気が高い。
- 4) 文系では、人文科学系、社会学系、教育系、理系では、医学系の人気が高い。
- 5) 進路について、進学志望者は85%、その内、獣医学部の希望者は、99人 (1.8%) である。全国の大学の入学総定員に対する獣医学部の定員率の約13.8倍に上っており、希望者が多い。
- 6) 進学先の選定条件の内、「経済的な理由」は14%、「自宅から近いこと」は4%に上っており、自分の興味がある大学を志望する一方で、偏差値や経済的理由も大きな要因となっている。
- 7) 「今治市への獣医学部の誘致が実現した場合」の進学希望は、「入学したい」が118人、「受験してみたい」が130人、「進路について考えてみたい」が789人と多い。
- 8) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合のメリットのうち、「遠くに行かなければならなかった獣医学部が近くにできるので嬉しい」という回答は、「進学先の選択肢が増えるので嬉しい」という回答 (24%) には及ばないものの、7% (451人) に上っている。
- 9) 進路指導担当教諭に対する調査の結果、「毎年何人かが獣医学部への進学を断念している」9校、「毎年ではないが何年かおきに断念する事例がある」29校となっており、その合計38校は、「毎年又は時々進学している」11校の3.5倍に上っている。
- 10) 進路指導担当教諭調査における獣医師養成系大学への進学希望を断念する理由は、「入学志願倍率が高く、入試に合格することが困難だから (入試の難易度)」、「6年制であり学費等が嵩むから (経済的理由)」に次いで、「近在に獣医師養成系大学がないこと (遠すぎるから)」が続いており、四国ブロックに大学がないことも進学断念の一つの要因となっていることがわかる。
- 11) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化については、「志望する学生にとっては、県内という選択肢が生まれることは有益」「経済的なことも考えると地元を設置されるのはありがたい」「進路選択の幅が広がって良い」といった意見が多い。

第1 政策研究の意図

1 研究の背景

今治市は、人口約17万4千人を擁し、愛媛県では松山市に次ぐ県下第2位の、また四国全体でも県庁所在地に次ぐ第5位の人口規模の都市であるにもかかわらず、高等教育機関は、今治明德短期大学が1校あるだけで大学がない。また、今治市の大学進学率は、54.4%（平成19年3月卒、全国平均51.2%）と高いが、市内に大学がないため、毎年約1,000人の若者が進学のために市外に流出し、街の活力に影響を及ぼしている。

このため、今治市では、本州四国連絡道路尾道・今治ルート（瀬戸内しまなみ海道）の四国側の玄関口となる今治南インターチェンジ周辺に、独立行政法人都市再生機構による新都市開発整備事業を実施しており、その中で大学の誘致、試験・研究機関の立地を想定しているエリア「学びの丘」の整備を終えている。

今治新都市第2地区土地利用計画



そうした状況の中で、今治市では、新都市地域への大学誘致を進めてきたが、昨年、学校法人より、このしまなみヒルズに大学獣医学部の設置の申し出があった。

このため、今治市では、この大学の誘致を進めることにした。

2 大学獣医学部の立地現状

今、大学の獣医学部（学科）の定員は、「大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取り扱いに関する基準」（平成15年3月31日文科省告示第45号）により、入学定員の増員の規制が行われている。

このため、獣医学部は、これまで約40年間新設されておらず、全国930人の定員の内、西日本には国公立大学の165人しか割り当てがなく、その上、四国には1つも獣医学部がない。

また、四国に獣医師養成系大学がないことは、農林水産省が昨年5月に公表した「獣医師の需給に関する検討会報告書」で、四国は全国の獣医師のわずか2.4%しか活動しておらず、産業系、小動物系とも将来の需要に対する供給が不足するとされた要因になっていると考えられる。

第1 政策研究の意図

○獣医師の活動地域の選択割合

	産業動物診療獣医師	小動物診療獣医師
北海道	23.7%	4.5%
東北	15.2%	4.8%
関東	16.2%	43.9%
北陸	4.4%	4.1%
東海	5.4%	12.2%
近畿	5.6%	14.8%
中国	6.4%	4.6%
四国	2.4%	2.4%
九州	20.7%	8.6%

出所：平成18年獣医師法第22条の届出による

○産業動物診療獣医師の地域別需給割合（政策努力目標を勘案した場合）

	2006年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
北海道	88.1%	83.9%	79.7%	75.3%	72.0%	69.7%	68.2%	67.6%
東北	124.3%	120.5%	116.0%	109.5%	104.8%	101.4%	99.2%	98.3%
関東	146.1%	140.2%	134.0%	126.5%	121.1%	117.2%	114.6%	113.6%
東海	77.1%	74.1%	70.8%	66.9%	64.0%	61.9%	60.6%	60.0%
北陸	105.6%	99.9%	94.5%	89.2%	85.3%	82.6%	80.8%	80.1%
近畿	141.9%	136.0%	129.9%	122.6%	117.3%	113.6%	111.1%	110.1%
中国	146.3%	141.7%	136.4%	128.8%	123.3%	119.3%	116.7%	115.6%
四国	84.2%	80.8%	77.3%	73.0%	69.8%	67.6%	66.1%	65.5%
九州	75.4%	73.7%	71.5%	67.5%	64.6%	62.5%	61.1%	60.6%

需給割合＝供給数／必要獣医師数×100

II

○小動物診療獣医師の地域別需給割合（小動物診療施設における効率化を勘案せず需要現状値の場合）

	2006年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
北海道	105.9%	109.9%	116.4%	124.1%	132.1%	134.7%	136.7%	137.6%
東北	84.7%	87.0%	91.2%	95.8%	99.5%	101.5%	103.0%	103.7%
関東	122.0%	122.1%	123.8%	127.0%	130.5%	133.1%	135.1%	136.0%
東海	100.2%	101.8%	104.0%	107.2%	110.6%	112.8%	114.4%	115.2%
北陸	82.6%	84.4%	87.7%	91.9%	96.0%	97.9%	99.3%	100.0%
近畿	89.7%	92.1%	95.3%	99.3%	103.7%	105.8%	107.3%	108.0%
中国	78.3%	80.6%	84.4%	89.0%	93.3%	95.2%	96.6%	97.2%
四国	67.4%	69.2%	72.4%	76.5%	80.5%	82.1%	83.3%	83.9%
九州	78.7%	80.1%	83.2%	86.9%	90.0%	91.8%	93.2%	93.8%

資料：「獣医師の需給に関する検討会報告書」（平成19年5月 農林水産省）

3 調査の目的

今治市は、この文部科学省による規制の緩和を求めめるため、昨年11月に構造改革特区提案申請を行い、四国地域における地域を限った規制の緩和を求めている。

なぜなら、文部科学省による獣医学部の入学定員の規制により、「四国の高校生が獣医師を志望する場合は、遠隔地の大学に進学を余儀なくされ、経済的な負担も嵩むことから、東日本の高校生に比べ不利な状況にある」のではないかと考えたからである。

そこで、愛媛県内の高校生及び進路指導担当教諭を対象としたアンケート調査を実施した。

第2 高校生の意識調査の結果

1 大学獣医学部の誘致に関する意識調査の結果（高校1年生）

1) 調査方法

- ① 調査対象 愛媛県内の全日制普通科及び農業関係科の全ての高校1年生
 (対象を1年生としたのは、本特区提案が認められても、実際に大学立地の手続きを行い、開学するには2～3年の期間を要するためである。)
- ② 配布先 県内56高校(分校は本校で計数)の全日制普通科及び農業関係学科の1年生9,748人
- ③ 配布方法 各高校に調査票を郵送し、郵送又は直接回収
- ④ 調査期間 平成20年4月25日から5月12日まで
- ⑤ 回収結果 47高校6,923通を回収(内訳はフェイスシートの通り)

表 調査票回収結果のフェイスシート（全体）

	高校数	人数	男子	女子	不明
東予地区	17(2)校	2,006(85)人	934(35)人	1,025(46)人	47(4)人
中予地区	16(2)校	3,696(319)人	1,705(155)人	1,860(158)人	131(6)人
南予地区	14(0)校	1,221(0)人	565(0)人	615(0)人	41(0)人
合計	47(4)校	6,923(404)人	3,204(190)人	3,500(204)人	219(10)人

注) ()内は農業関係学科

表 調査票回収結果のフェイスシート（今治市）

	高校数	人数	男子	女子	不明
今治市内	9	1,058	440	584	19

- ⑥ 回収率 71.0%

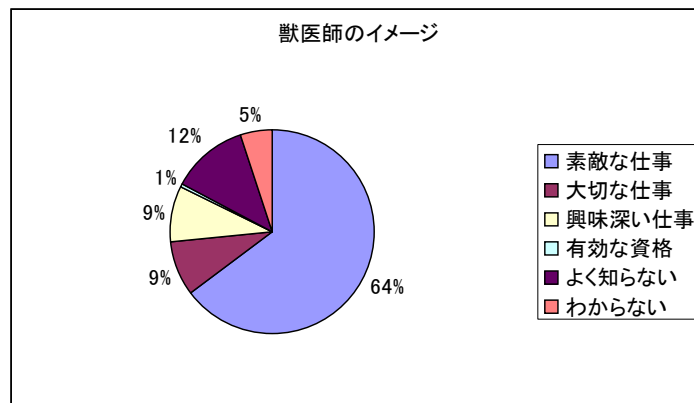
第2 高校生の意識調査の結果

2 調査結果の分析

1) 獣医師に対する印象

高校1年生の獣医師に対するイメージを聞くため、「あなたは、獣医師についてどのように思われていますか?」という質問を行ったところ、「動物病院などでペットの病気を治す素敵な仕事だと思う」という回答が65%と全体の約3分の2を占めた。

「家畜の病気や伝染病を治し、安全な畜産物を守る大切な仕事だと思う」「動物の生命を通して色んな分野が拓ける興味深い仕事だと思う」を合わせると約82%となり、多くの高校生が好印象を抱いている。

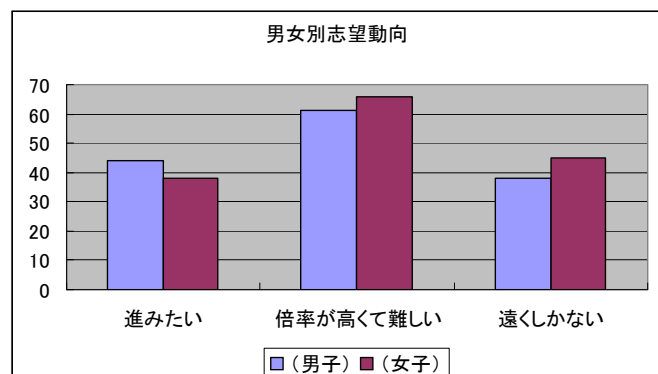
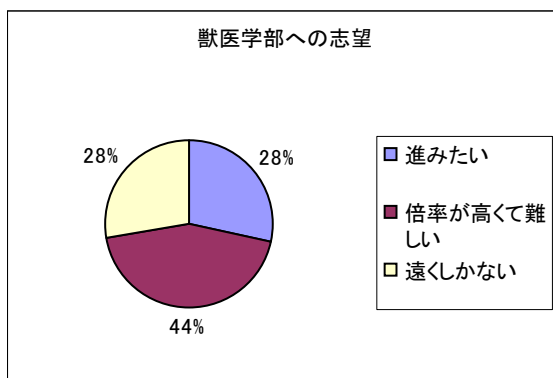


2) 獣医学部への志向の状況

「あなたは、将来、獣医学部(科)に進んでみたいと思いますか?」という獣医学部への進学希望を問う質問については、「獣医学部に興味はあるけどあまりよくわからない」(16%)、「特に獣医学部に進みたいとは思わない」(80%)を除く、301人(4%)が進学への志望意欲を見せている。

この301人の内訳を見ると、「獣医師を目指して獣医学部に進みたい」という回答が85人であるのに対し、「獣医学部に進んでみたいけど志望倍率が高くて難しいと思う」132人、「獣医学部に進んでみたいけど遠くの大学しかないので難しいと思う」84人と、進学意欲を見せている301人の内、71%(216人)の高校生が、進学は難しいであろうと考えている。

近くに大学がないために断念する生徒(84人)が進みたい生徒(85人)とほぼ同数になっていることは、四国ブロックにおける教育の機会均等が損なわれていることを裏付けている。



第2 高校生の意識調査の結果

また、男女別に見ると志望人数は、ほぼ拮抗しており、女性比率が半分近くに上っている。

男女別獣医師免許保有者数を見ると獣医師免許保有者は、34歳以下の年齢層で女性が男性を上回っており、また30歳以上の年齢階層では、全て男性従事者数が女性従事者数を上回っているのに対し、29歳以下では女性が上回っており、獣医師の女性比率が年々高くなっている傾向がうかがえ、アンケートの結果は、この傾向がさらに続くであろう推測を裏付ける結果となっている。

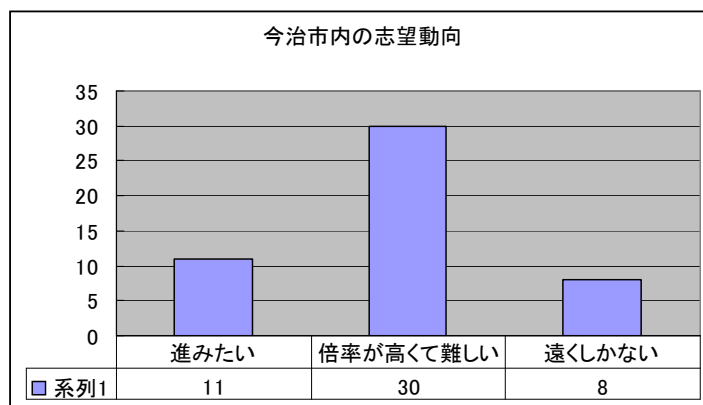
このことは、体力的に大型家畜を扱うことが不利な女性が獣医師の志望者の半数に上ることを示しており、産業系獣医師の不足がさらに悪化する要因として懸念される。さらに、「進みたいが遠くの大学しかないの難しい」という回答は、女子が男子を上回っている。

(参考) 男女別獣医師免許保有者数

年齢	免許保有者					従事者				
	計	男	率%	女	率%	計	男	率%	女	率%
24～29	4,179	2,003	47.9%	2176	52.1%	3,385	1,662	49.1%	1723	50.9%
30～34	5,332	2,512	47.1%	2820	52.9%	4,058	2,147	52.9%	1911	47.1%
35～39	4,991	3,126	62.6%	1865	37.4%	3,904	2,681	68.7%	1223	31.3%
40～44	4,770	3,382	70.9%	1388	29.1%	3,789	2,891	76.3%	898	23.7%
45～49	5,007	3,944	78.8%	1063	21.2%	4,071	3,394	83.4%	677	16.6%
50～54	4,991	4,051	81.2%	940	18.8%	3,991	3,468	86.9%	523	13.1%
55～59	4,687	4,146	88.5%	541	11.5%	3,706	3,414	92.1%	292	7.9%
60～64	2,854	2,715	95.1%	139	4.9%	1,746	1,694	97.0%	52	3.0%
65～69	2,463	2,407	97.7%	56	2.3%	1,088	1,070	98.3%	18	1.7%
70～74	2,055	2,039	99.2%	16	0.8%	670	665	99.3%	5	0.7%
75～79	2,847	2,840	99.8%	7	0.2%	644	643	99.8%	1	0.2%
80～84	2,730	2,729	100.0%	1	0.0%	375	375	100.0%	0	0.0%
85以上	1,482	1,482	100.0%	0	0.0%	90	90	100.0%	0	0.0%

資料：獣医師法第22条届出より政策研究室において作成

これを今治市内の高校に限ってみると、「獣医学部（科）に進みたい」という回答が11人、「進みたいが倍率が高くて難しい」30人、「進みたいが遠くの大学しかないの難しい」8人となっている。

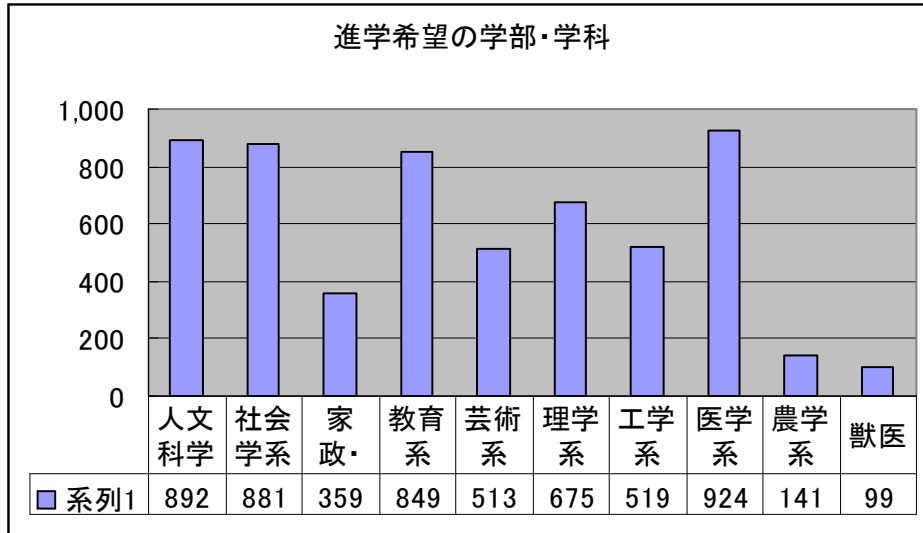


第2 高校生の意識調査の結果

3) 進路の希望

「あなたの進路の希望について教えてください」とたずねたところ、進路については、大学等の高等教育機関への進学を志望する者は85%、進学を希望しない者は15%であった。

進学を希望する者の進路の希望は、次のグラフの通りである。



獣医学部（科）を希望するのは、99人（1.8%）である。

現在の大学の入学定員70万7000人に対する獣医学部の入学定員は930人と、わずか0.13%であることを考えると、県内の獣医学部への進学希望1.8%は、定員率の約13.8倍に上っており、予想以上に希望者があるといえよう。

6月28日付け愛媛新聞朝刊に、「現状での進学希望者は1%にとどまった。」との記述があったが、定員率を考慮すると「進学希望者は1.8%にも上った。」と表記すべきであろう。

誘致の獣医学部志望1%

今治市が県内高1調査

今治市はこのほど、今治新都市第二地区（同市高地町一丁目）への誘致を目指す大学獣医学部について、県内の高校一年生を対象に実施したアンケートの結果をまとめた。誘致が実現すれば、約15%が獣医学部への進学に関心を示したが、現状での進学希望者は1%にとどまった。

アンケートは今年四五「遠くの大学しかないので、大学に進学する際の希望」とは八十四人（1・1%）が「獣医学部」に対する「2%」だった。意識、志望状況を調べよう。誘致が実現したとして、普通科と農薬科があるも、入学希望者は百人（1・1%）に突進。七千人から回答を得た。「受験したい」「進路の視野に入りたい」を合わせた。獣医学部への進学について計三十人で14・7%だった。八十五人（1・2%）が「獣医師を目指す」と回答。大学進学を考慮する際の条件として、「希望分野の学部に進みたい」と回答。件として、「希望分野の学部進学を希望するもの」「志望がある」「難易度が適し望倍率が高くて難しい」は「大都市や住みやすい地域にある」の割合が上。百三十二人（1・9%）、「い地域にある」の割合が上。

設置実現なら進学に関心 15%

今治市への獣医学部設置について、「大学進学の際に必要がなくなるので実現してほしい」と好意的な声があった一方、「獣医学部が四国にないこと自体知らなかった」「今治よりも松山市や高松市に設置してほしい」という意見も寄せられた。市企画課は「四国に獣医学部が一つもないため、将来的に進学を希望する生徒が少ないのでは」と推測。この結果を二十五日に国の構造改革特区提案に盛り込んだ。国の回答は九月ごろを見込んでいる。

位を占めた。希望学部では文学や心理学の人文科学系、法律、経営学の社会科学部系に加え、医学や歯学の医学部系への進路希望がそれぞれ13%ずつと高かった。

2008年6月28日（土）愛媛新聞朝刊

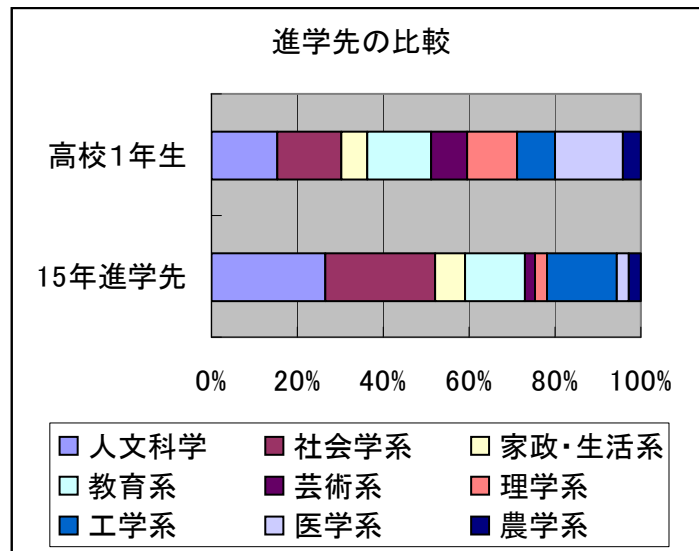
第2 高校生の意識調査の結果

進路の希望の全体の傾向をみると、文系が6割（3,494人、59.7%）、理系が4割（2,358人、40.3%）と文系の進学先の人気が高いことがわかる。

また、文系では、人文科学系（文学・語学・史学・地理学・哲学・心理学・文化など）、社会学系（法律・政治・経済・経営・商学・社会学・国際関係など）、教育系（教育学・教員養成・体育学など）、理系では、医学系（医学・歯学・薬学など）の人気が高い。

これを、平成15年3月の実際の進学先と比較すると下図のようになる。

今回のアンケート結果に比べ、平成15年3月の進学先は、人文科学系、社会学系、工学系の割合が高くなっている一方で、医学系、理学系、芸術系の割合が低い。



資料：平成15年度大学進学調査（愛媛県教育委員会）より政策研究室において作成

ここで「2）獣医学部への志向の状況」の「獣医学部（科）に進みたい」という回答85人と、「3）進路の希望」の「獣医学部（科）を希望する」という回答99人に不整合があるため、その内訳を比較してみる。

これをみると、「獣医学部に進みたく、獣医学部を希望している」のは41人であり、その他の回答には不整合が見られる。このことは、高校1年生が2年先の進路について迷い、あるいは決めかねている状況が伺える。

2) 獣医学部への志向の状況

獣医学部に進みたい85人	
獣医学部	41人
人文学系	9人
社会学系	3人
家政生活系	2人
教育系	3人
芸術系	2人
理学系	1人
工学系	2人
医学系	14人
農学系	8人

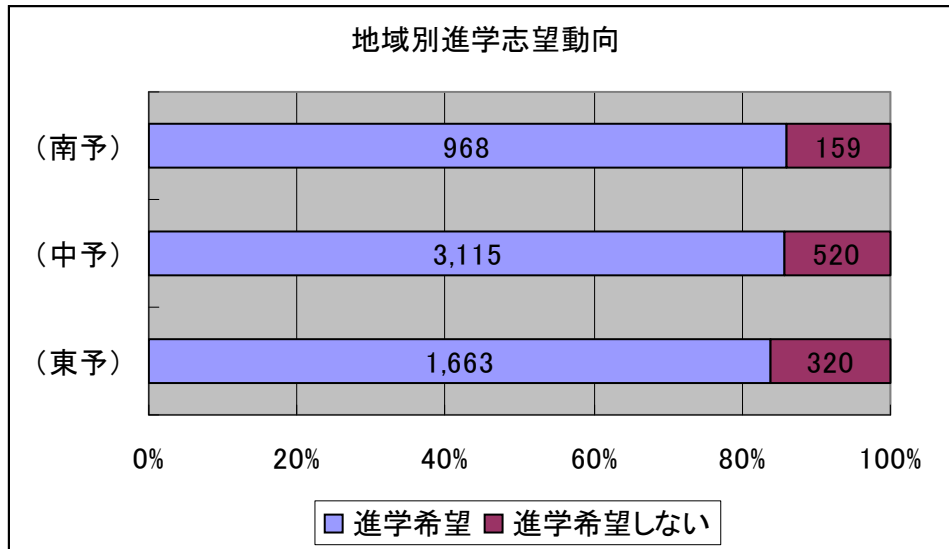
3) 進路の希望

獣医学部を希望する99人	
獣医学部に進みたい	41人
偏差値・倍率が高く難しい	28人
大学が遠くて難しい	8人
よくわからない	15人
その他	7人

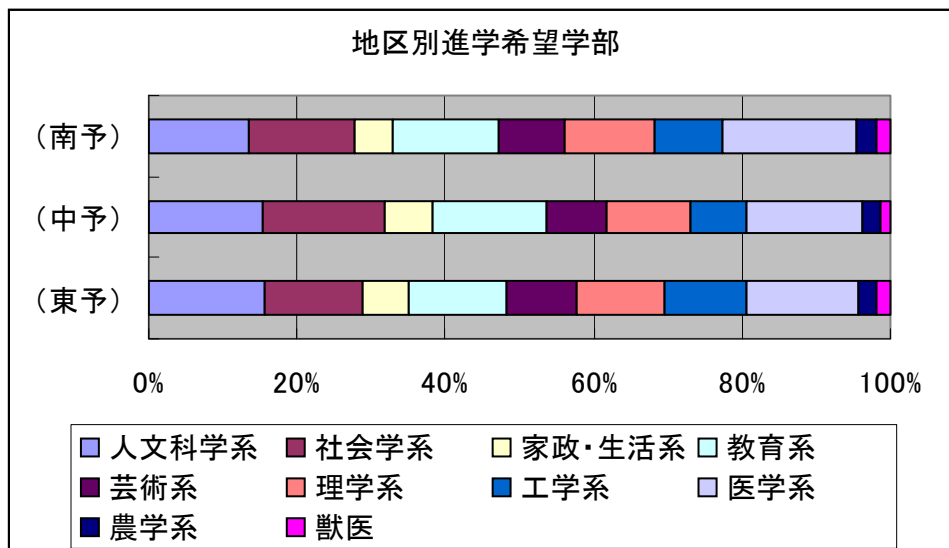
第2 高校生の意識調査の結果

進路の希望を地域別に見ると下図の通りとなる。

地域別の進学志望動向をみると、東予、中予、南予ともいずれも80%を超えており、高い進学志望動向がうかがえる。

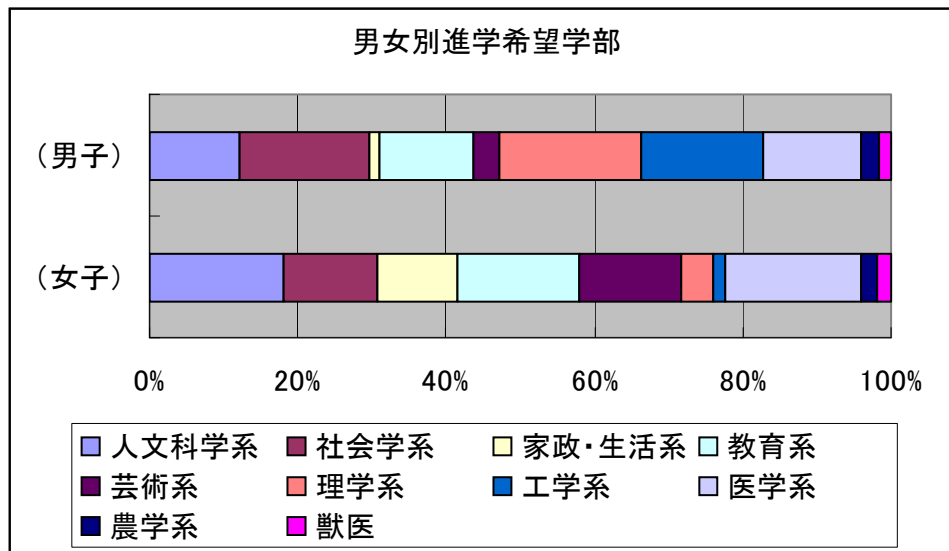


次に地域別の進学希望学部をみると、中予が東予、南予に比べ、文系の志望動向が数ポイント高くなっている一方で、農学系、獣医系の志望割合は、ほぼ一定であることがわかる。

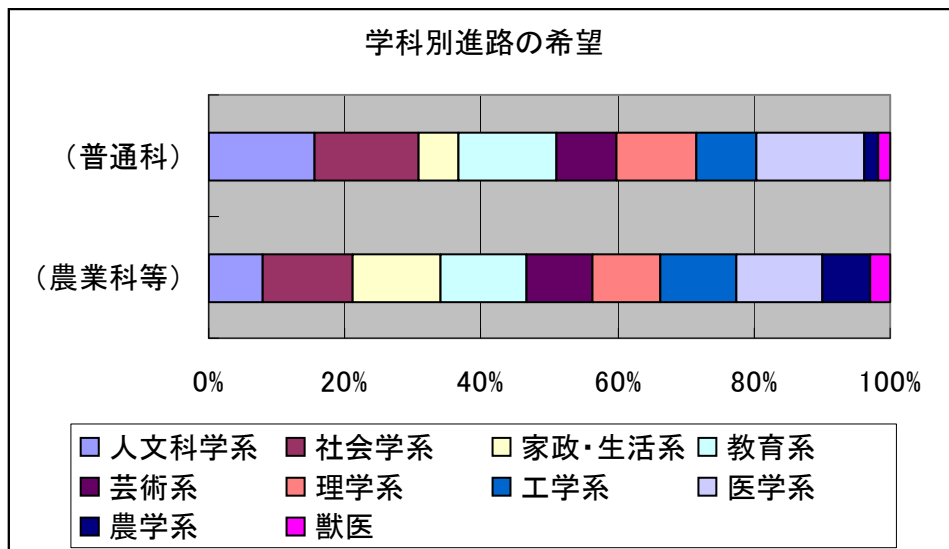


第2 高校生の意識調査の結果

次に男女別の進学希望学部をみると、男子は文系志望が50%に満たないのに対し、女子は文系志望が70%を超えており、男子は理系、女子は文系の志望割合が高いことがわかる。一方で、農学系、獣医系の志望割合は、男女ともほぼ一定であることがわかる。

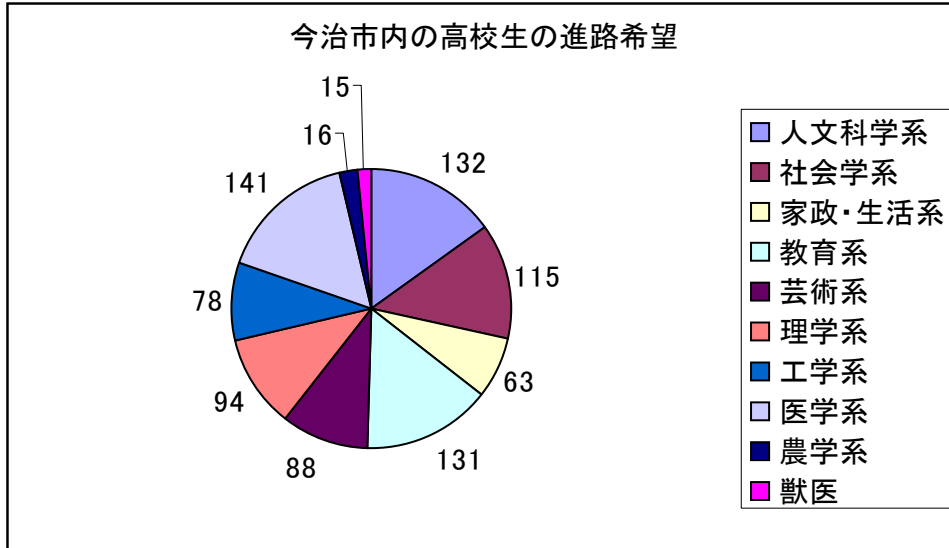


次に学科別の進学希望学部をみると、普通科に比べて農業科の方が理系希望や獣医学部の希望の割合がやや高くなっている。



第2 高校生の意識調査の結果

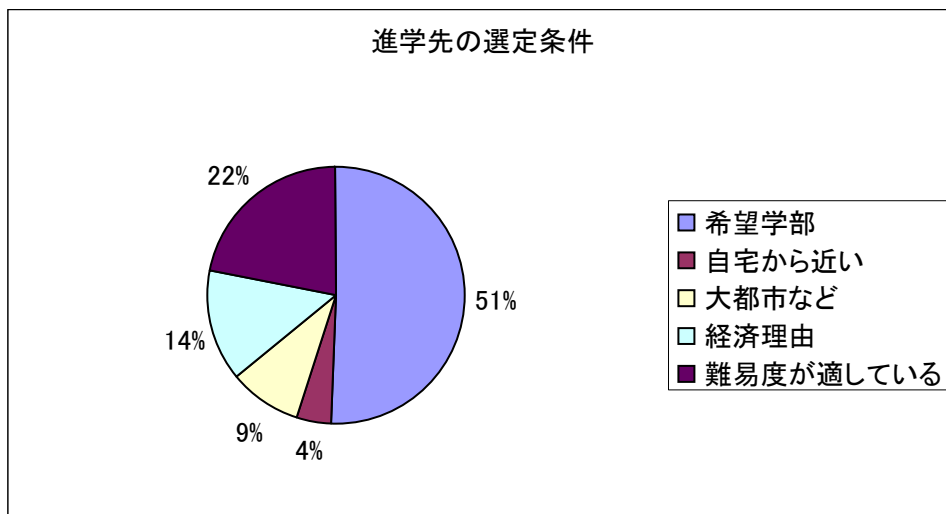
次に今治市内の高校生の進学希望学部をみると、全体の傾向と同様の傾向を示している。
また、15人の高校生が、獣医学部を希望している。



4) 進学先を選定する条件

「あなたは、進学先をどのような条件で選択しようとしていますか？」という問いに対する回答は、「希望する分野の学部がある」が51%と半数を占めており、次いで「入学の難易度が適している」が22%、「学費が安い（経済的理由）」が14%と続いており、「自宅から近いこと」という回答も4%に上っている。

自分の興味がある大学を志望する一方で、偏差値や経済的理由も大きな要因となっている。



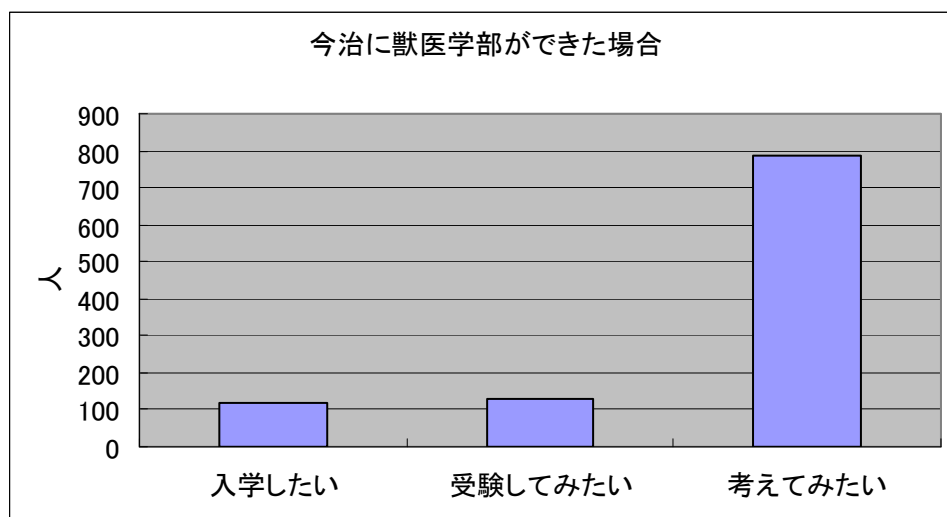
第2 高校生の意識調査の結果

5) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望

「今治市への獣医学部の誘致が実現した場合」の進学希望について、「今治市では、1学年の定員が約120名で、最新の設備と教育水準の高い私立大学の誘致を検討しています。国の規制が解除され、獣医学部の誘致が実現するとしたら、あなたはどのように思われますか」とたずねると、「今治市に大学の獣医学部ができてあまり関係ない」という回答が84%を占めるものの、「今治市に大学の獣医学部ができるなら入学したい」が118人（1.7%）、「今治市に大学の獣医学部ができるなら受験してみたい」が130人（1.9%）、「今治市に大学の獣医学部ができるなら進路について考えてみたい」が789人（12%）に上っている。

「入学したい」という回答と「受験してみたい」という回答の合計人数は248人と、進路の希望の項目で「獣医学部への進学を希望する人数」99人の2.5倍に上っている。

この結果から、地元で獣医学部が設置されることが、獣医師養成系大学の立地偏在の解消や教育の機会均等の増進に結びつき、県内の高校生の獣医学部への進学需要の喚起に寄与するであろうことがわかる。

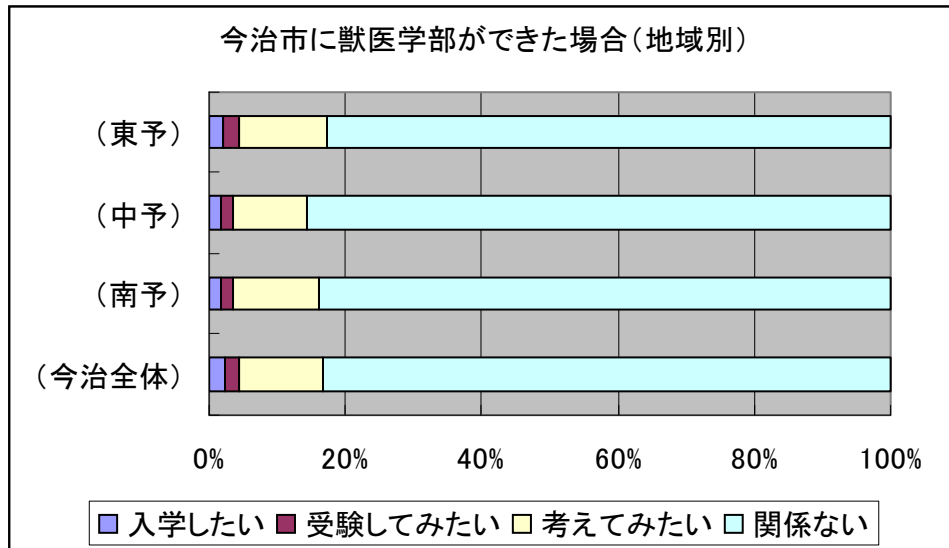


第2 高校生の意識調査の結果

同様の質問に対する回答を地域別に比較すると下図の通りとなった。

『入学したい』という回答と『受験してみたい』という回答の割合は、東予、中予、南予ともほぼ同様の傾向を示している。

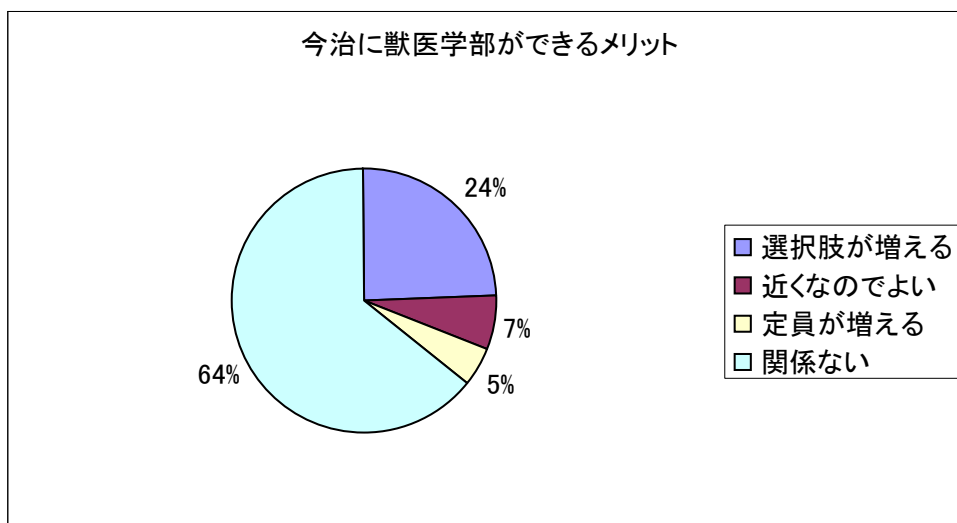
このことから、今治市に大学が誘致された場合は、今治市内や東予地域だけでなく、県下全域で同じように進学希望が高くなるということがわかる。



6) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合のメリット

今治市への獣医学部誘致が実現した場合のメリットのうち、「遠くに行かなければならなかった獣医学部が近くにできるので嬉しい」という回答は、「愛媛県内に新しい大学ができ、進路の選択肢が増えるので嬉しい」という回答(24%)には及ばないものの、7%(451人)に上っている。

この回答数は、前問の『入学したい』という回答と『受験してみたい』という回答の合計人数248人の1.8倍に達している。

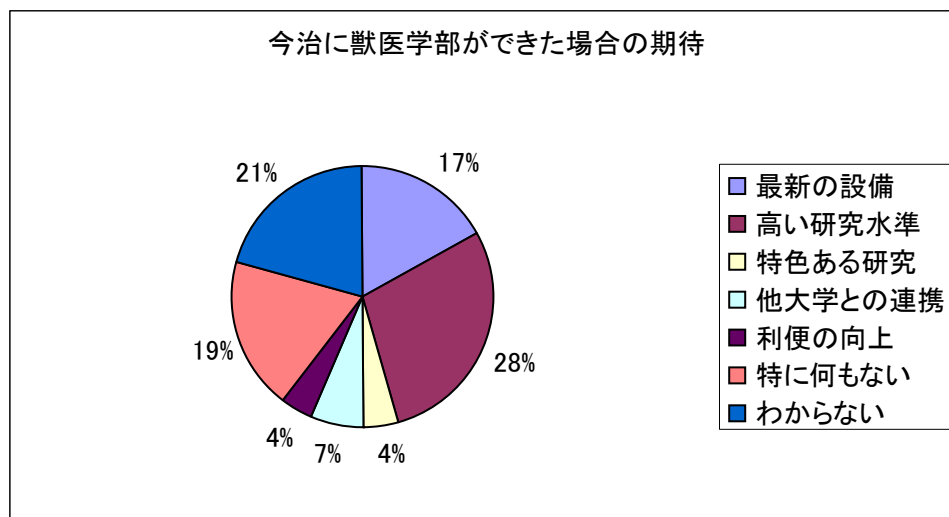


第2 高校生の意識調査の結果

7) 今治市の獣医学部誘致への期待

「あなたは、今治市に大学獣医学部ができるとしたら、どのようなことを望みますか？」という問いに対する回答で最も多いのは、「サーズや鳥インフルエンザといった新しい家畜伝染病にも対応できる高い水準の研究をして欲しい」が28%、次いで「新しい大学なので最新の設備を備えた立派な大学にして欲しい」が17%となり、以下、「愛媛大学や松山大学など他の大学とも連携して研究対象がいくつかの学問領域にまたがる学際的研究を行って欲しい」「愛媛県は水産業が盛んなので、魚病学など特色のある分野の研究をして欲しい」と続いている。

一方で、「特に何も望まない」19%、「わからない」21%という回答もあるが、半数近くの高校生が「最新の設備を備えた高い研究水準の獣医学部」を望んでいることがわかる。



第2 高校生の意識調査の結果

8) 獣医学部に関する意見・感想

「獣医師や獣医学、また大学の獣医学部（科）等についてのご意見やご感想があれば自由に記入してください。」という項目に対する回答は、以下のとおりであった。

(代表的な意見を抜粋、順不同)

- ・やっぱりいろんな進路を選べるようになるのはいいと思うし、獣医師の人も増えていいと思う。
- ・獣医学部(科)が少ないのは食の安全など、人間のためにもいけないと思う。
- ・四国に無かったので、できると良いと思う。獣医学部希望の人は可能性が広がると思う。
- ・獣医学などは、聞いたことがなく、よくわからないので、獣医に関することをもっと知りたい。詳しく紹介してくれる冊子などを配布して欲しい！！
- ・今、たくさんの方がペットとして動物を飼っているように、人と動物との関わりは強くなっていると思います。病気になったら殺すなどの残虐な行為をしなくてすむよう、共に生きるものとしての研究を進めて行ってほしいです。
- ・狂牛病や鳥インフルエンザなどの動物から感染していく新しい感染症が増えている中で、獣医学という分野はこれから大切になっていくため、ぜひとも盛んになるよう獣医学部を増やしてほしいです。
- ・獣医学には興味があるので、実現したらうれしいと思う。
- ・大学が出来ることによってたくさんの方が獣医をめざすようになれば良いと思う。
- ・私はあまり獣医学について知らないのでよくわかりませんが、立派な大学が愛媛県に出来るのだとしたらとても素晴らしいことだと思います。
- ・メリットは多くあるかもしれないけど、成功すればの話だし、デメリットも多いと思う。
- ・動物から人に感染されると噂されている病気予防とか身近にいるペットや牛などの病気、さらには牛肉などに関する食の安全についてなど、幅広い研究機関として機能してほしい。
- ・国公立で設立してほしい。
- ・私立大学を創立するのであれば、あまりよろしくないと思う。経営費の問題もあるし、定員が集まるとは限らないから。
- ・今治に作っても交通の便が悪いのでよくない。もっとひらけた所の方がいい。
- ・私は将来動物にたずさわる仕事につきたいと思っています。獣医師に興味がありますが、難しいので動物看護師になりたいと思っています。
- ・獣医師になるのはかなり難しいと友人から聞いていて、それに獣医学部がある大学は離れた県にしかないの、県内にできれば今まで諦めていた人達も志望できるようになると思います。
- ・私立の獣医学校は授業料等の経済的負担が大きいので公立の学校をたくさんたててほしい。
- ・ペットを飼う人が増えているのでぜひできてほしいし、たくさん獣医師を育ててほしい。
- ・四国には1校もないので、実現できたらとても良いと思います。
- ・獣医が唯一動物を治すことができるすばらしい仕事だと思う。獣医学部は倍率がとても高く、獣医になれる確率もとても低いけどできることなら挑戦してみたいと思う。
- ・よりたくさん動物を病気やけがから救える医師の育成をお願いしたい。
- ・獣医さんは全国的に少ないと思うので、これからどんどん増えていったらいいと思う。

第2 高校生の意識調査の結果

- ・獣医学部(科)ができれば、今まで県外に行っていたけれど、県内にできるなら行き帰りのお金も浮くし、県の知名度が上がると思います！
- ・やるのなら早くしてほしい。
- ・獣医師に興味があったので、進路選択の道が増えてうれしい。
- ・獣医学を学んでみたいです。
- ・県内に大学ができるのは、選択肢が増えるのであった方がいいです。
- ・将来は動物園で働きたいと考えているので県内に獣医学部ができれば入学したいと思います。
- ・四国の中で獣医になりたい人がたくさんいるのであれば、作ればよいのではないかと思います。
- ・獣医学部ができるのはよいことだと思います。特に今治にできたら、希望する人も多くなるし、愛媛にとってもよいと思います。
- ・新居浜に動物病院が少ないと思うので、もし、今治や新居浜に動物病院ができたなら、ペットを飼っているお年寄りや家庭が増えているので、役立つと思います。
- ・どこの大学も定員が少ないので、獣医学部を作るという動きは、獣医学部を目指すものとしてうれしいです。
- ・学費を安くしてほしい。
- ・定員が少なく入学が困難となり難易度が高くなっているので、大学が増えることで幅が広がることはいいことだと思う。
- ・愛媛にはないものができるのでいいと思う。
- ・入学した生徒の面倒を就職までしっかり見てほしい。
- ・できるなら最新のシステムを完備してほしい。
- ・愛媛に大学が増えるのはいいことだと思います。
- ・叔父や親戚が獣医をしているので若干興味がある。
- ・獣医学部だけでなく、医学部や薬学部なども取り入れたらいいと思う。
- ・鳥インフルエンザなどを防ぐ方法を学んだりできる学校があればいいと思う。
- ・僕は獣医師になりたいのですが、県外の遠い所にしかないなので、できたらうれしいです。
- ・近くにそのような学部がないから取り入れてほしい。
- ・獣医師になりたい人が夢に近づくので、いいと思います。
- ・カエルの「ツボカビ病」でカエルの絶滅が激しい、と聞く。他にも、様々な病気によって死ぬ動物が多い。そのようなことに苦しむ動物を救えるような人材を育ててほしい。
- ・犬、猫以下の小動物も診察できる獣医師をもっと増やしてほしい。
- ・愛媛県内に獣医学部のある大学ができてほしかったので、作られるのであればうれしい。
- ・多くの伝染病に対応できるような薬を作してほしいです。
- ・いろいろな病気を治せるような薬をつくってください。
- ・鳥やカメなど、普通の犬猫病院ではちゃんと診てもらえないような動物も診てほしいです。
- ・大学の獣医学部を今治市に誘致しなくてもいいのではないかと。
- ・愛媛の近くには獣医学部のある大学がないので、「獣医」という言葉自体になじみが薄い。
- ・とても良いことだと思います。私は一時期獣医になりたいと思っていました(今は違いますが)。遠くに大学があるので諦めました。だから、ぜひ今治市につくってほしいと思います。
- ・愛媛県にも、獣医師になりたいと思ってる人はいると思うので、設立できればいいと思います。
- ・まだよく分からないのであんまり進路の選択にいれられない。

第2 高校生の意識調査の結果

- ・国内トップクラスの学部にしてもらいたい。
- ・今、日本では動物が家族の一員という考えが多くなっていると思います。自分の住んでいる地域には、獣医師がいない。だから獣医師が増えることはとても自分にしてもうれしいです。
- ・鳥インフルエンザとか未然にふせげるように研究してほしい
- ・獣医学部は、とても難しそうな感じがします。
- ・獣医学などはあまり、知られてないと思うので、情報をたくさんふやしたらいいと思う。
- ・獣医学部ができれば便利になると思う。
- ・私は獣医師は少しだけ興味をもっています。自分自身、将来は医療関係の仕事につきたいと思っています。なので、このアンケートを通して興味がより深くなりました。
- ・獣医学部(科)は四国に1校もなく関東の方にたくさんあってびっくりしました。
- ・動物が苦手なので、獣医師や獣医学などはあまり関係がありません。
- ・四国には獣医学科のある大学がないので、あった方がいいと思いました。
- ・愛媛にもっと獣医師の大学を増やしてほしい。
- ・獣医学科のある大学に進学したいと考えています。なので、ぜひ今治に作ってほしいです。
- ・南予では、獣医院というのがない(?)に近い状態なので、もし県内にそういう科が増えれば少なくとも県内の獣医に関する技術のようなものは上がるんじゃないかなと思う。ただ、関心の格差があるんじゃないかなと思う。
- ・獣医師ではないけど、将来就きたい仕事には獣医学部(科)である方がよいときいていたので、ぜひ、つくってほしい。
- ・私も小さい頃は、獣医師になりたいと思っていましたが、大きくなるにつれて、難しい仕事だったり、大変な仕事だということを知ってやめました。ぜひ、向上させてほしいと思います。
- ・昔から獣医さんには興味があり、なりたいと思う時期があったけど、学力面や県内にその大学がないため、あきらめていたので、嬉しいです。できるならば進路面で見当していきたいです。
- ・近年、動物の伝染病が大流行しているので、研究してほしい。
- ・小学生の時に獣医師になることが夢でした。今でも、少しなってみたいという気持ちがあるので、いろいろ知りたいです。
- ・なんらかの特色を出すべき、特に魚の医学について教える大学はないので、それはそれで価値がある方向性であると思う。
- ・動物達の病気が人間にうつらないように衛生面でしっかりしてほしい。
- ・経済的な理由から県内の学校を選ぶしかなかった人達のためにも、是非県内に作ってほしい。
- ・私は将来の夢が獣医なので、とても嬉しいです。是非がんばって誘致していただきたいと思います。
- ・憧れてはいるけど近くにないので無理です。
- ・獣医学部がある大学は少ないのでできればいいと思います。
- ・愛媛に獣医学部ができることはいいことだと思う。松山にもいい獣医が増えると嬉しいです。
- ・獣医師はとても大変な仕事だと思うけど、必要なので大学を誘致したらいいと思う。
- ・技術だけでなく、サービスの向上面も養える学校にしてほしい。
- ・現代の社会には鳥インフルエンザなどのとても恐ろしい病気が出てきているので、よりよい獣医師をたくさん排出してほしい。

第2 高校生の意識調査の結果

- ・私の妹が獣医になることを将来の夢としているので、もし大学に獣医学部ができるのであれば、妹は喜ぶと思います。
- ・愛媛に限らず、県外どこへ出ても通用する獣医師を育成してください。
- ・立派な学校を造ってください。
- ・私は将来の夢の一つとして獣医師になりたいと思っています。特に、動物園の獣医さんなので、難しいけど、こんな私でも頑張ればなれるのなら、なりたいです。
- ・愛媛県内に出来るなら、それはそれで便利になってくるんじゃないかと思われる。
- ・四国には獣医学部がないので今治にできたら便利だと思う。
- ・鳥類などのインフルエンザ等怖い病気が外部にでないようにしてもらいたい。
- ・獣医学部ができたら、獣医を目指す人が増えると思うので、そういう学部は必要だと思う。
- ・規制がなくなり定員の幅が広がるというのは素敵だと思います。
- ・将来の選択肢が増えるので大変良いと思う。
- ・愛媛ではない学科なので、出来るだけあったらいいなと思う。
- ・獣医学部の大学に入る人数は多分少ないと思う。理由はただでさえ人の医師は減っているのに、獣医師の人間が増えても社会には有意義になるとは思わない。
- ・獣医学部の定員の少なさに驚きました。
- ・獣医師の数が足りないなので、今治に魅力的な大学の獣医学科を作ってもっと獣医師を目指す人を増やしてほしい。

第2 高校生の意識調査の結果

9) その他言いたいことなど

「このアンケートや今治市の取り組みについて言いたいことやご要望があれば自由に記入してください。」という項目に対する回答は、以下のとおりであった。(代表的な意見を抜粋、順不同)

- ・すばらしい取り組みだと思う。
- ・獣医学部のある大学はとても少ないのでいい取り組みだと思います。
- ・ぜひとも獣医師の枠を増やしてほしいと思います。
- ・現在は一般の医師の数も不足しているため、通常の医学部の定員をふやすとrikumiをしてほしいと思います。
- ・お金の無駄づかいは止めてください。
- ・今治市は貧乏なので、大学をつくる金があるのなら、市内の小中学校の設備を直してほしい。
- ・臨床検査技師学校(大学)を建ててほしい。
- ・積極的で良いと思う。その様な大学ができたらいと思う。
- ・このようなアンケートは市民の声を取り入れるのに大切なものだと思うのでこれからも実施して欲しい。
- ・新しい大学なので、やっぱり設備が立派な大学にしてほしいと思います。今治市では、市民の意見もとり入れてくれるのがいい。
- ・どうか今治市に大学獣医学部を作って、動物達の命がもっと多く助かれればいいと思う。
- ・県内の学部は一般的な学部しかなく、獣医学部などの少し特殊な学部は少ないと思うので、他の学部も増やして欲しいと思います。
- ・他の学部も設立して、今治に若い人が増えるようにしてほしい。
- ・国公立大学を増やして欲しい。
- ・ぜひ獣医大を愛媛につくってほしい。
- ・教育活動を活発にするという点に関しては、賛成です。
- ・獣医学科は少ないので是非誘致してください！
- ・獣医学科を設立するのはよいが、高水準の大学を設立するなら、その中に、医・歯学科も設立してほしい。
- ・獣医学部以外にも大学を作ってほしい。
- ・アンケートなどをして、意見を聞いてくれるのがいいと思います。
- ・獣医学だけでなく、他の分野についても頑張してほしい。今よりもっと色々な進学を選べるようになってほしい。
- ・最近私立大学の多くが定員割れして、大学として運営が出来ないなどということがよく見られるので、そのようにはなってほしくない。
- ・新しく開拓するのは困難でありながら、進めようとする活動的であるのはとてもいいと思う。
- ・ぜひこの計画を実行してほしい。
- ・私立というのが高そうで、できれば国公立の方がいい。
- ・なるべく節約して学校を作ってほしい(むだな物はいらぬ)
- ・獣医が少ないということはこのアンケートで初めて知りました。また、獣医になることが大変という事をあらためて理解しました。
- ・大学獣医学部を設置するならもうちょっとニュースとかで情報提供をするべきだと思う。

第2 高校生の意識調査の結果

- ・このような取り組みをどんどんやっていくべきだと思います。
- ・アンケートの対象の違いによって内容を変えると良いと思う
- ・少子化の時代であり、実現するなら採算面も十分考慮してからにすべきである。アンケートの対象がはっきりしない。
- ・大学設置に加え、総合的に、今治市・愛媛県の発展につなげてほしい。
- ・四国にも獣医になりたい人はたくさんいるので、ぜひとも獣医学科を誘致して欲しいと思う。
- ・新しい大学を作るのは大変だと思いますが、がんばってください。
- ・獣医という夢を持った人が愛媛県やその他の四国の県にもいると思うので、ぜひ作っていただきたいと思います。
- ・愛媛県には動物病院が少ないので、少しでも獣医学に力を入れてほしい。
- ・僕は正直獣医学に興味はないけれど、選択肢が増えるのはいいことだと思います。
- ・獣医学部はいらなと思います。お金のむだづかいだと思います。
- ・大きくて素敵な大学にしてください。
- ・いい取り組みだと思います。動物をみんなが大切にできるようにがんばってほしい。
- ・教育学部の方を増やしてもらいたいです。
- ・私立なので、入ることは考えていませんが、定員が増える→倍率が下がる→受かりやすくなると思うので、是非学科を作ってもらいたい。図々しいのですが、よろしくお願いします。
- ・大学の誘致はいいことだと思います。
- ・これは進路が大体決まっている僕らに聞くより、小学生、中学生に聞いた方が良くと思う。
- ・マップを見ると本当に四国には獣医学科のある大学がないのでぜひ今治に作ってほしいです。
- ・大学ができたなら、愛媛の活性化にもつながるし、良いと思います。
- ・四国に、1校すらないと聞いていたのでびっくりしました。この取り組みが、実現できるといいなと思います。
- ・高校生以外の中学生とかにもアンケートをしたほうが良いと思う。
- ・獣医学部があるなんてはじめて知りました
- ・学生のことを考えてやってほしいと思います。
- ・四国に獣医の大学がないので、四国に住んでいてその職業につきたいと思っている人には、とてもいいことだと思います。
- ・進路の選択肢が増えるので、「科」が増えるのはうれしい。
- ・アンケートをして、みんなの意見を知ることはいいことだと思いました。
- ・いろいろな所でアンケートをとって、そのアンケートを元にどういう大学にしていくかを考えていることが良いと思った。
- ・獣医学だけでなく、芸術系統の大学もあれば、もっと便利だと思います。
- ・全国の学生にとって良い取り組みだと思います。
- ・今の現状では遠くには獣医師を養成する大学がないため進学したくても進学ができない人が少なからずいると思います。日本の将来の為にも取り組みが成功するように祈っています。
- ・是非、愛媛県にも獣医学科をつくってもらいたいです。
- ・獣医学部をつくるなら、3年以内につくってください。
- ・今治市に大学獣医学部を作るとしたら、他の県や市に自慢ができるような立派な大学にしてほしい。

第2 高校生の意識調査の結果

- ・伝染病を研究してほしい。
- ・獣医学部は東北にしかないというイメージがあるので今治市にできれば、目指している人にとってはとてもいいと思う。
- ・愛媛県どころか四国にも獣医学部がある大学がないので、ぜひつくってほしいと思う。
- ・専門的な分野をもっと増やせばよい
- ・新しく大学ができるといいと思っているので、頑張ってもらいたい。
- ・四国にだけ獣医関係の大学がないので、今治に大学を建てたほうがいいと思います。
- ・こんなことにお金をかけるより、他のことにもっと目を向けるべきなのでは。税金は節約して使ってください。
- ・獣医はペットや動物を飼っている人には医者同様必要な仕事だと思います。
- ・いいことかもしれないが、無駄遣い。造船業やタオルを世界1位になるように頑張ってもらいたい。
- ・今治という微妙な位置にわざわざ設立する理由がわからない。高松・松山がいいのでは？
- ・県の財政がぎりぎりなのに、大学を誘致する余裕があるのか？愛媛国体があるのだからとりあえずそちらに力を注いでほしい。松山大学薬学部の二の舞にならないようにしてほしい。

10 考察

この意識調査の結果から、高校1年生の段階では、6年生の特殊な獣医学部であっても、1.8%もの生徒が獣医学部を志向していることは、予想外に多い結果となった。しかし、多くの学生が、「経済的負担」「入学の困難さ」「遠くの大学に行かねばならない」などの理由で、3年生になって実際に大学を選択する時点で進路を変更していることがわかる。

また、一方で、今治市に獣医師養成系大学の誘致が実現すれば、現状の進路選択に新たな選択肢を提供することができ、獣医師養成系大学への潜在的需要を喚起することがわかったため、この結果は、今治市への大学誘致が教育の機会の均等や受験等の機会の拡大に寄与するであろうと言える。

さらに多くの学生が、県内に新しい学部が設置されることで、進路選択の幅が広がったり、受験機会が増えること、地元で進学することにより経済的負担が軽減されることなどの理由で概ね好意的に受け止められているようである。

一方で、食の安全や新型の動物感染症などにも高い関心を示しており、大学獣医学部を誘致するのであれば、立派な設備を備えた高い水準の研究を行うことができるような大学が求められていることがわかった。

これらの結果のそれぞれが、大学獣医学部の地域偏在により四国地域では、教育の機会均等が損なわれていることを裏付けている。

第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見

高校1年生を対象とした意識調査を補完するため、実際の教育現場で進路指導を担当している先生方にも意見を聞いた。

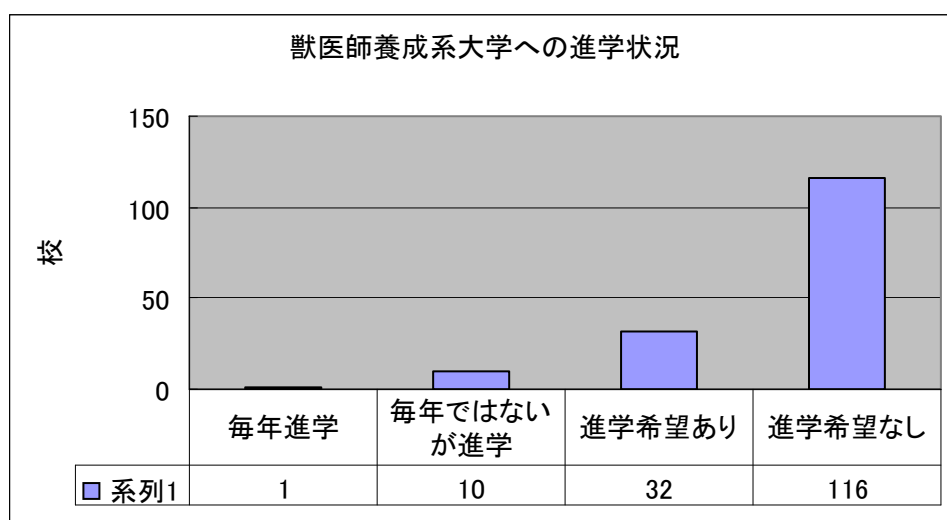
1 調査方法

- ① 調査対象 愛媛県内の全ての全日制高校の進路指導担当教諭
- ② 配布先 愛媛県内の全ての全日制高校
- ③ 配布方法 各高校に調査票を郵送し、郵送で回収
- ④ 調査期間 平成20年4月25日から5月12日まで
- ⑤ 回収結果 163通の回答を得た。

2 調査結果

1) 獣医学部への進学希望の状況

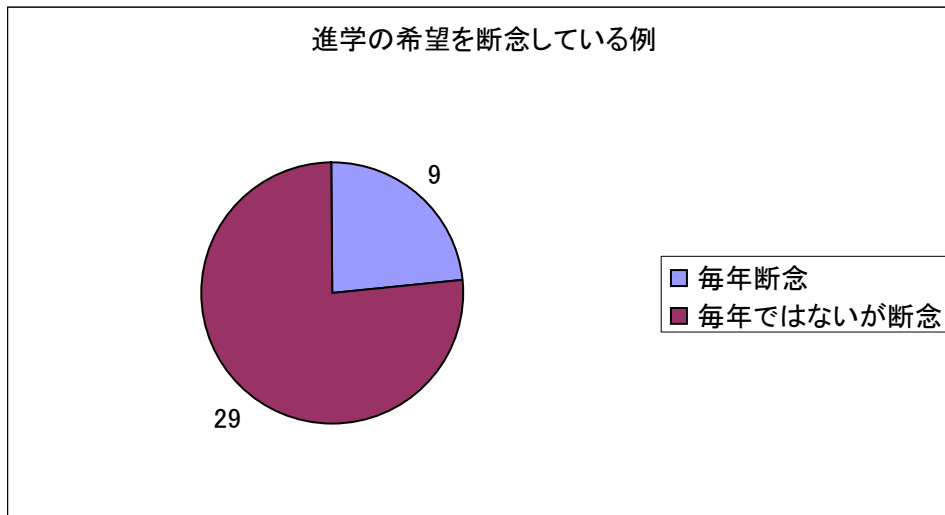
「あなたの高校における獣医学部への進学希望はどのくらいありますか？」と獣医師養成系大学への進学状況についてたずねたところ、「毎年2人位が進学している」と回答した高校が1校、「毎年ではないが多い年は3人、少ない年は1人位が進学している」と回答した高校が10校あった。



第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見

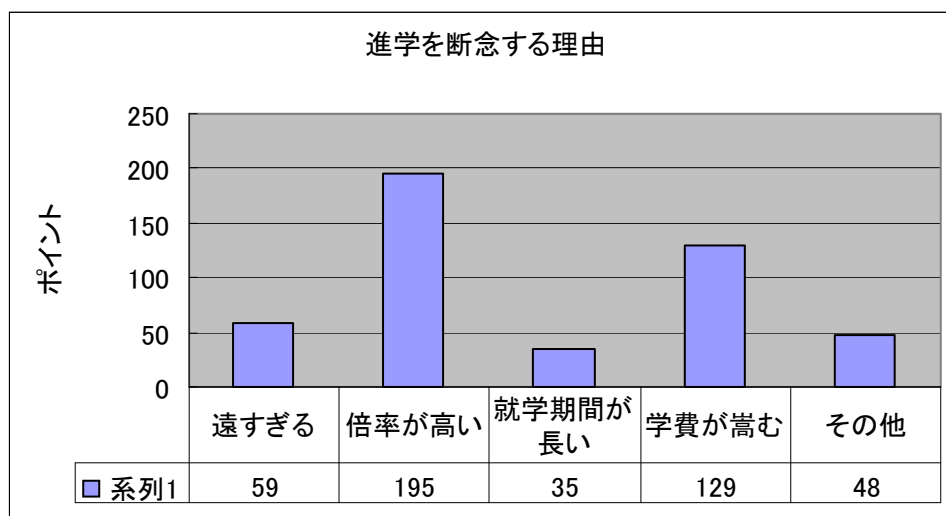
2) 獣医学部への進学希望の断念の状況

高校1、2年生の頃、獣医師養成系大学への進学を希望しながら、その後、実際の進学に際して断念している状況を「これまで獣医学部への進学を希望しながら断念した例はありますか?」という問いに対する回答でみると、「毎年何人かが断念している」9校、「毎年ではないが何年かおきに断念する事例がある」29校となっており、その合計38校は、「毎年又は時々進学している」11校の3.5倍に上っている。



3) 獣医学部への進学希望を断念する理由

獣医師養成系大学への進学希望を断念する理由を順位付けし、1位5ポイント～5位1ポイントとして加重集計した結果は、下記のグラフの通りである。「入学志願倍率が高く、入試に合格することが困難だから（入試の難易度）」、「6年制であり学費等が嵩むから（経済的理由）」に次いで、「近在に獣医師養成系大学がないこと（遠すぎるから）」が続いており、四国ブロックに大学がないことも進学断念の一つの要因となっていることがわかる。



第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見

4) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化

「今治市に大学の獣医学部（科）が設置されると県内の高校生の進学希望はどのように変化すると思われますか？ご意見やご感想を自由に記入してください。」という質問で得られた今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化に関する主な意見は、以下のとおりであった。

(代表的な意見を抜粋、順不同)

- ・国公立大学進学が中心であるので、(本校の場合)あまり変化はないと考えます。
- ・志望する学生にとっては、県内という選択肢が生まれることは有益だと思う。ただ、そういった生徒の絶対数は決して多くないため、「変化」というほどの状況は生れにくいと感じている。
- ・私も過去に数人このような学部への希望を持った生徒に出会ったことがあります。経済的なことも考えると地元を設置されるのはありがたい事だと思います。
- ・進路選択の幅が広がって良いと思います。
- ・ほとんど変化はないと思います。ただし地元今治市の生徒の動向は分かりませんが、大学の規模と内容と方向性に関係があると思います。
- ・あまり変化はないと思われます。これからは大学の全入時代と言われているので、これから設置というのはどうかと思います。
- ・現在勤務している学校だけでなく、今まで教員として生徒と接してきて、動物にかかわる仕事をしたいと考えている生徒は何人もいたが、獣医をめざすという生徒は、本当に少数であった。学力的な難しさがあると思う。
- ・特に大きな変化はないが、県外へ進学していた者がとどまる可能性はあると思う。
- ・もともと獣医学部を希望していた学生は進学を考えるとと思う。しかし、「学校ができたから獣医学部に行こう」と思うかどうかはわからない。
- ・松山大学薬学部ですら学生集めに苦勞し、経営的にも失敗している状況にある中、県内では6年制の獣医学部は難しいと思います。
- ・特に変化はないと思いますが、経費面で助かることによって親は歓迎するかもしれません。
- ・獣医学部を目指し県外へ出ていた生徒の中で地元で学べる機会ができ、更に地元で就職できれば、進学者はあるかもしれません。大学を卒業した後、どのような活躍の場があるかも大切だと思います。
- ・希望者は進路先の候補の一つとして受験すると思う。
- ・獣医学を志す生徒にとっては、ありがたい話であるが、そうでない生徒にとっては特に影響はないのではないか。
- ・獣医学部を持つ大学自体が少なく、今ペットブームであることなど需要があると思われるが、授業料の費用のことを考えると県内高校生の進学希望に大きな変化が生じるとは思われない。県外からの進学者が多くなるのではないだろうか。
- ・学生の意識の中に場所、どこにあるかで決める者もいるので、人気のない所にあると全く集まらない可能性もあるのでは。
- ・県内外の学生が集まり商業的にも活性化されると思いますが、獣医学部単一の大学では多くの学生は集まってこないとも思われます。県内の学生も今治に目を向けてくれることは間違いのないところでしょう。

第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見

- ・それほど需要があるとは思えない。
- ・数十年前でしたら、食肉加工場も今治にあったのですが、今は新居浜と大洲の2ヶ所になり、牛やブタを生産している農家も少なくなりましたので、どうなのでしょう。
- ・獣医をめざすのはそれなりの覚悟がいると思う。勉強にかなりの実力をつけなければならないと思います。薬学部のように増えすぎでは困ると思います。
- ・選択肢がふえると思います。学費が高い(私立)ので、どうなるか疑問です。
- ・動物が好きという生徒は少なくないが、3年となり進学を目前としてから、将来の就業のことなどを考えて進路を変える生徒も多いと思う。したがって、今治市に獣医学部が設置されても、県内の高校生の動向に大きな変化はないと思う。
- ・設備、教授陣などが充実していれば、県内の希望者は進学すると思う。ただし、教育内容などで地域に根ざしたものにする必要があると思う。
- ・本校では、獣医学部の志願倍率が高いので希望者(1,2年次に)が居ても断念している。今治に設置されたとしても、同じ理由で断念することになるのではないかと思う。
- ・獣医学部の倍率は高く、進学も難しい状況を踏まえて考えると、需要はあると思われる。しかし、それが今治市や愛媛県の獣医の需要を上回り、最終的に地元への還元がほとんどない状況になるのではなかろうか。
- ・希望者は県内に残り県内で就職してくれる割合が上がるかもしれないが、同じような系列の松山大学薬学部の状況をもうしばらく見てから判断した方がいいように思う。
- ・潜在的に希望があっても、県外にしかないとあきらめていた生徒にとっては、その方面に行ける可能性がでてくることで希望する生徒もあるのではないか。
- ・近年獣医志望者は大変増えてきている。県内に獣医学部が設置されれば今まで関東や北海道にしか無いということで断念していた者は喜んで受験すると思う。ただ、獣医学志望そのものが一時的ブームのようにも感じられる。
- ・希望者がでて来ると思われる。農業高校にも多少希望者がでて来ると思われ、進路選択の面でありがたい。
- ・県外に流れていた獣医学希望者の一部が県内(今治市)にとどまる可能性は高くなると思う。
- ・四国に獣医学部がないので、四国在住の高校生は進路選択肢の一つとして考えられる。

県内での獣医学部を希望する人は、そこまで増えないと思う。

- ・獣医志望の生徒は行くと考えられるが、それのみではなかなか難しいのではないかと思う。また、将来の受け皿を確保してもらえないと安心してすすめられないのが本音である。
- ・近くに大学ができたらかといって、獣医学部を希望する県内高校生が増えるということはないのではないかと思う。今までだと不合格だった人達の合格する率があがるだけなのでは。本気で獣医になりたければ場所など関係ないのではないか。志願倍率をみても、近い所を1校だけ受けるということは考えにくいように感じる。
- ・食に関する安全意識が高いと思われます。学校ができれば希望者が出ると思われます。
- ・今治市、松山市、新居浜市内の進学校の生徒の獣医学科への進学希望者が増えると思う。
- ・地元設置されることによって進学希望者が大幅に増えることは考えにくいと思います。6年制であり学費、就学期間の面も無視はできません。また、就職状況や仕事の内容からも単に「動物と関わりたいから」程度の気持ちでは現実問題としては選択しにくいと思います。

第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見

- ・希望する生徒は西日本全体から多く集まってくると思われる。しかし6年間かかること、卒業後に獣医として本当に働くことができるのかなど問題があると思われる。
- ・希望する生徒は多いので進路選択の幅は広がる。
- ・獣医学部を希望する生徒が増加するものと思われる。
- ・県内で進学したいという生徒の選択肢の1つが増えると思う。
- ・あまり変化は無いように思われる。ただ獣医学部を目指す、あるいは関心を示す生徒は以前より多くなっているのではないかと思われ、ニーズはあるのではないかと思います。
- ・国公立を目指す生徒が多いことには変わりはないと思うが、自宅から通うことができる生徒は私立でも希望する者が増えるかもしれない。
- ・地理的な近さから、希望者が増加すると思われる。ただし、受験難度は高いままだと予想され、依然として厳しい入試になるのでは？
- ・地元の生徒にとっては行きやすいということで、希望者がでてくると思います。
- ・若干名だと思うが、希望する生徒もいるかもしれない。
- ・生徒にとっては大変歓迎されることと思われそうですが・・・問題は学費だと思います。
- ・県外に出ていた生徒が県内希望に変わる可能性は大きい。
- ・県内の学生の流れはそんなに変化ないのではないと思う。というのも、県内の獣医希望者は、やはりそんなに多くないと思います。むしろ、県外からの学生が増えるのでは。とくに都市部(つまり将来都会で開業したい)学生が多く来るのではないのでしょうか。
- ・私立大学の場合にはほとんど変わらないと思う。現実には学費の面で進学は難しいからである。国公立の場合には、難易度の面で進学希望者はあまり出ないのではないかと？**学費のフォローが大切だと思う。**
- ・今まで地理的要因や経済的な理由から断念していた受験生層を掘り起こすことができ、受験生にとっても**選択肢が広がるため良い効果があると思われます。**
- ・獣医を希望する生徒は経済的にも比較的恵まれている家庭の生徒が多いように思われる。なので、今治に入学する生徒は「地元だから」というよりも「ここしか合格しなかったから」という感覚になるのではないかと。経済的な苦しさを持つ生徒は国立しか目指さない。
- ・獣医希望生徒の志望校の一つになるが、設置されたことで希望生徒が増えるとは思わない。
- ・ぜひ四国に誘致してほしい。ペット関係の専門学校・短大・大学は増加しているが、獣医学部は増えてない。ペットが家族の一員となりつつある現在、もう少しふやしてもよいのではないかと。
- ・地元で獣医学志望の生徒にとっては、ありがたいことだと思う。他校様のことはわからないが本校の場合、県内に獣医学部が設置されたとしても獣医学部への進学希望者自体が増えるようなことはないかと思われま。
- ・獣医学部を志望する生徒がいれば、受験校のひとつになると思うが、国家試験などの合格率等実績がでるまで募集活動は大変だと思う。また、私立大学であれば授業料の関係もあり松山大学薬学部のような状況も当初考えられるのではないかと。
- ・私大の場合、学費の負担が多いのがネックとなるが外部からの若者の流入が生じ、活気付くことが考えられる。また身近な選択肢として新学科を目指す学生も増えるのではないかと。

第4 愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見

- ・ペットを飼う人の増加・獣医学部が西日本には少ない等、獣医学部希望者の受け皿になると期待できる。
- ・高専なので5年一貫教育のため、3年終了で想定される獣医学科への進学はほとんどないと思われる。
- ・本校生の中にも、獣医学部に関心を持っている生徒は、毎年数名以上はいるようです。もし近く開設されると、学力・経済的問題はあると思いますが、興味を示す者は出てくると思います。
- ・本校の獣医志望者の殆ど全員が受験希望をしますと思います。(専願・併願の別はあるにしても)

3 考察

大学獣医学部への進学は、毎年1～3人程度という高校が11校に上るのに対し、高校1、2年生の頃、獣医師養成系大学への進学を希望しながら、その後、実際の進学に際して断念している状況は、38校に上り、「毎年又は時々進学している」11校の3.5倍に上っている。

そして、その断念の理由は、「入学志願倍率が高く、入試に合格することが困難だから(入試の難易度)」、「6年制であり学費等が嵩むから(経済的理由)」に次いで、「近在に獣医師養成系大学がないこと(遠すぎるから)」が続いており、高校1年生に対する意識調査の結果と同様に四国ブロックに大学がないことも進学断念の一つの要因となっていることがわかる。

また、「今治市に大学の獣医学部が設置されると県内の高校生の進学希望の変化」については、進路指導担当教諭も四国に獣医師養成系大学が設置されれば、地理的利便、経済的負担の軽減その他の理由で獣医師への進学希望者が増えるであろうとの予測を示している。

第5 愛媛県外の高校進路指導担当教諭の意見

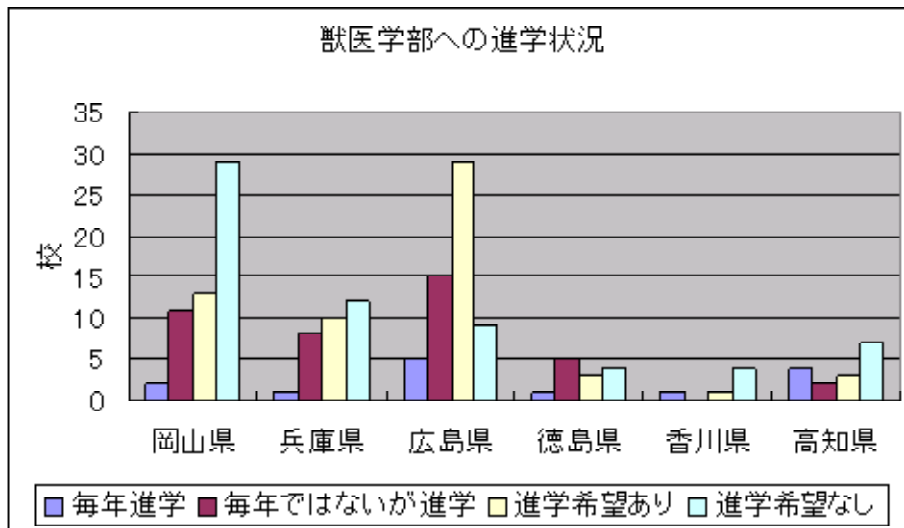
1 調査方法

愛媛県内の高校進路指導担当教諭の意見調査と同じ調査票を用いて、学校法人の進路相談員が、岡山県56校、兵庫県29校、広島県52校、徳島県14校、香川県6校、高知県16校の進路指導教諭にヒアリングにより調査した。

2 調査結果

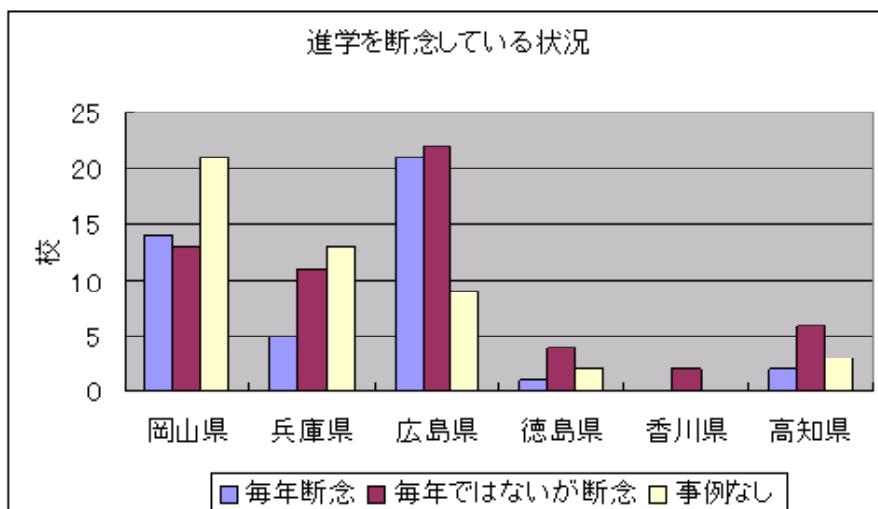
1) 獣医学部への進学希望の状況

中四国各県とも毎年獣医師系に進学している高校が1～5校ある。また、広島県では、進学希望はあるが、進学していない高校が29校と多い。



2) 獣医学部への進学希望の断念の状況

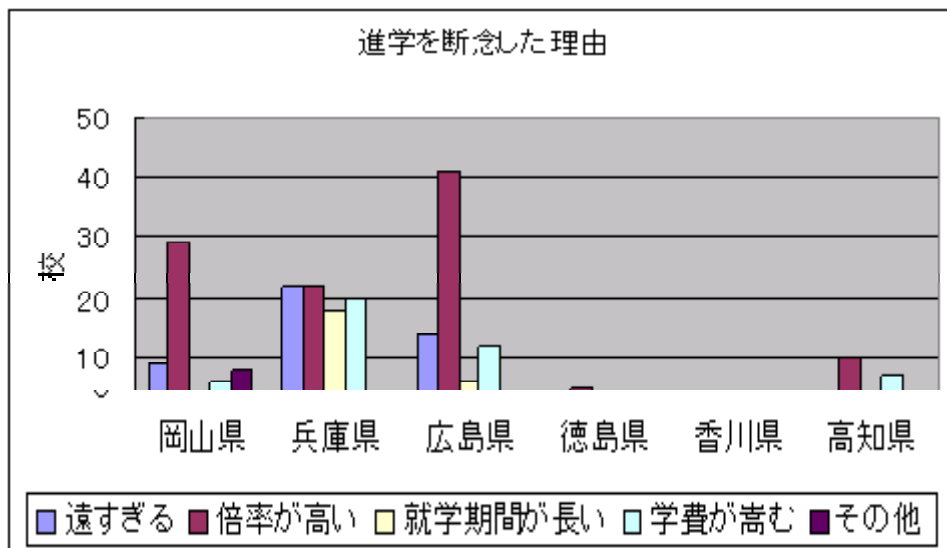
各県とも毎年あるいは、何年かおきに獣医師養成系大学への進学を断念している事例があることがわかる。



第5 愛媛県外の高校進路指導担当教諭の意見

3) 獣医学部への進学希望を断念する理由

各県とも志願倍率が高いことが主な断念の理由としてあげられているが、兵庫県では「獣医学部のある大学が遠すぎるから」という理由も、入学の難易度とほぼ同数の理由となっている。



4) 今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化

「今治市に大学の獣医学部が設置されると県内の高校生の進学希望はどのように変化すると思われますか？ご意見やご感想を自由に記入してください」という質問で得られた今治市への獣医学部誘致が実現した場合の進学希望の変化に関する主な意見は、以下のとおりであった。

(代表的な意見を抜粋、順不同)

(岡山県)

- ・ 学力的な面、就職の面から進路変更する生徒が多い。
- ・ かなりの進学希望者はいるので、受験する可能性は高い。
- ・ 受験者は数名出る可能性はある。
- ・ 学力的に難しいので変わらないと思う。
- ・ 学費の関係で、私立よりは国公立に行く。
- ・ 中四国地区なら生徒は興味を示す可能性はある。
- ・ 関東圏には出にくいので志望を持っている子には魅力。中四国の国立大の併願として変化する可能性あり。
- ・ 今治という土地については予想しづらい。

第5 愛媛県外の高校進路指導担当教諭の意見

(兵庫県)

- ・ ほとんどが国公立志望である。
- ・ 近くに大学があれば進学希望もあると思う。
- ・ 関東や北海道と比べて、今治市なら何人かは希望があると思う。
- ・ 2～3人の希望があるのではないかと思う。
- ・ 動物に関する学部、学科への進学希望はあり、入試、学費等の条件で変化もある。
- ・ 動物系(獣医)への進学希望は今から増加すると思われる。

(広島県)

- ・ 多少の効果があるものとする。
- ・ レベルが高いため、大きな変化はない。
- ・ 経済的な理由が障害とならなければ、希望者は出るとされる。
- ・ 進学希望の一つになる。
- ・ 就職が不安であるため、希望は多くならない。
- ・ 近くにあつて就職が安定するという条件を整えば進学希望は増加するだろう。
- ・ 進学先として候補に挙げる生徒が増加する。
- ・ 近くにないので必ず受験者が多くなるだろう。
- ・ 国公立大学の第二志望として希望すると思われる。
- ・ 現況は山口大学、宮崎大学に受験。東京にしか受験の受け皿がないので近辺にできれば受験する可能性はある。
- ・ 愛媛県に行きたがらない。関西志向が強い。
- ・ 就学期間や学費などから、国公立で獣医を目指す生徒が多い。
- ・ 学費の問題で国公立以外の希望は少ないのではないか。

(徳島県)

- ・ 女の子であれば、四国内なら行かそうかという親もいる。
- ・ ペットブームの流れから、受験する子は多いかもしれない。
- ・ 四国にないから、受験する可能性はある。
- ・ 絶対値が少ないから変化はない。

(香川県)

- ・ 変わるかもしれない。
- ・ 学費が高いため、変わらない。

(高知県)

- ・ 四国地区であれば、希望が出てくるかもしれない。
- ・ 今治市に大学があると希望する。
- ・ 受験はするが、入学はわからない。

第5 愛媛県外の高校進路指導担当教諭の意見

3 考察

四国及び瀬戸内海沿岸の各県の高校の進路指導担当教諭の意識調査の結果も、愛媛県内の高校の進路指導担当教諭の意識調査の結果と同様の傾向を示している。

いずれの県においても獣医師を志向する潜在的需要が多い一方で、学力的、地理的、経済的理由などで進学を断念している例も多いことは、四国ブロックに獣医師養成系大学が立地していないことや西日本と東日本の入学定員の偏在により、四国及び瀬戸内海沿岸の各県の高校生が獣医師を目指す場合、少なからず不利益を被っており、教育の機会均等が損なわれているといえよう。

今治に獣医師養成系大学ができれば、進路の選択肢が広がる、受験する者が増える、といった意見がある一方で、広島市や岡山市などの都市部から、今治市を希望する学生は少ないのではないかと、都会を志向する学生が多いことに伴う意見も上げられている。

第5 今治市に大学獣医学部の設置を！

今治市及び愛媛県は、共同で構造改革特別区域（大学獣医学部設置による地域再生特区）を設置する構造改革特区提案を申請している。

1 獣医学部の設置の趣旨

現在、獣医師の活動分野は多岐に渡っている。家畜、養殖を含む畜水産分野、食品の安心・安全を追求する公衆衛生分野、動物・ヒトの医薬品開発をするバイオメディカル分野、ペットへの医療となる小動物臨床分野、絶滅危惧種など野生動物の生態や環境に関する野生動物分野、人と動物の共生を考える動物愛護関係分野、海外との牛、豚、羊、山羊、鶏など家畜の健康管理、防疫といった家畜衛生や動物用医薬品の検定体制、技術協力など海外関係分野と大きく分けて7つの分野が示されている。

しかし、獣医学における各分野は、それぞれが深刻な問題を抱えている。

例えば、肉用牛においては全国的には頭数が増加しているが、依然として海外依存型となっている状況下で、食品においては牛海綿状脳症（BSE）問題、産地表示偽装問題、さらに口蹄疫、狂犬病問題も深刻であり、また高病原性鳥インフルエンザなど食卓に並ぶ食材の安心・安全が脅かされている。また、伴侶動物としては近年の少子高齢化に伴い、ペットブームが加速化しておりペットに対して癒しを求め、精神的に依存する傾向が高まり、愛玩動物（ペット）的存在から伴侶動物（家族の一員）的存在へと移り変っている。一方で、ペットの死で精神病となるペトロス症候群も社会的に問題視されている。また、身体的障害である視覚障害の方を援助する盲導犬の存在など動物は人の生活に欠くことの出来ない大きな役割を持ち、これら人をサポートする盲導犬・聴導犬・介助犬等の不足に対する普及支援、また獣医療の高度化に伴う医薬品等開発分野、これら諸問題を総合的に支援していくのが獣医師の使命であり、今後の獣医師の重大な責任と課題にもなっている。

このことは、農林水産省の『獣医師の需給に関する検討会報告書－平成19年5月』の中でも、「近年、社会の中で獣医師が果たす役割は、飼育動物の診療業務が中心だけでなく、公衆衛生業務、動物愛護業務、医薬品開発等様々な活動に広がり、わが国の畜産業の健全な発達のもとより、飼育動物の保健衛生の向上及び公衆衛生の向上にも大きく寄与している。特に最近、食品の安全確保に対する社会的ニーズの高まり、高病原性鳥インフルエンザ等の感染症対策の強化、コンパニオンアニマルとしての犬猫の飼育頭数の増加や求められる獣医療サービスの高度化等を背景に、獣医師の役割はより一層重要になってきている。」と述べられている。

近年の獣医療は、人にできる医療と同等の医療を動物にも施す時代になってきており、高度医療を施せる医療施設が出現するなど、今後、様々な動物医療活動が全国に浸透していくものと考えられる。

獣医師の需要と供給の問題については、獣医師の需給に関する検討会より平成19年5月に『獣医師の需給に関する検討会報告書』が出され、2040年までの需給見通しについて報告されている。

それによれば活動獣医師数からみた需給見通しでは、2040年には犬猫1頭当たりの年間診療回数が今後10年間で20%増加すると仮定した場合3,500人程度、また産業動物獣医師についても1,100人程度獣医師が不足すると報告されている。獣医師不足の原因の一つとしては獣医師の活動分野の偏在とされ、新規参入する獣医師の過半数が小動物診療分野を活動範囲として選択していることにある。

また地域間の偏在にも原因があるとされている。

第5 今治市に大学獣医学部の設置を！

獣医師養成機関である大学の獣医学科設置は1966年の北里大学を最後に現在に至るまで約40年間新設はされていない。

現在の獣医師養成機関の設置状況を見ると全国で国公立大学に獣医学科が16大学、16学科設置され、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、九州に設置されている。しかしながら、四国地方並びに瀬戸内海沿岸の広島県、岡山県、兵庫県には獣医師養成機関がなく不足している。

獣医師養成機関の大学入学定員を東西で見ると東日本が765名であるのに対し、西日本は165名と数的格差が生じている。このため、今治市への獣医学部設置により四国地方を中心とした地域格差も改善され、獣医師の需要と供給のバランスもより改善されていくものと考えられる。

2 獣医学部の立地偏在の解消と教育の機会均等の確保

本アンケート調査の結果によると愛媛県内で将来、獣医師になりたいと志向している高校1年生は99人に上り、人口按分で四国及び瀬戸内沿岸の志向者を推計すると千人を超えるものと思われる。

しかしながら、愛媛県内で獣医師を志向した高校1年生のほとんど(72%)は獣医師養成機関への進学を断念しており、その理由は、「志願倍率や偏差値が高く合格が困難なため(61%)」「近隣に獣医師養成機関がないため(39%)」などとなっている。

このことは、四国ブロックの高校生が、獣医師養成機関への進学を希望する場合、他の地域の高校生に比べて、遠隔地への進学や経済的負担などの不利益を被っていることを表している。

(参考資料) 獣医師を志向する高校1年生の推計数

県名	H17国勢調査人口	獣医師志向者数
愛媛県	1,467,815人	99名
香川県	1,012,400人	68名
徳島県	809,950人	54名
高知県	796,292人	53名
兵庫県	5,590,601人	377名
岡山県	1,957,264人	132名
広島県	2,876,642人	194名
山口県	1,492,606人	100名
合計	—	1,077名

出典：愛媛県高校1年生の意識調査より今治市において推計

また、現在、四国ブロックのペットの飼い主は、ペットが重病や難病を患った際は、関東の獣医大学附属動物病院等での治療を余儀なくされているほか、家畜保健衛生所や動物病院の開業医は、原因が特定できない家畜や小動物の病性診断を行うため、大阪府立大学や山口大学等に検体を送って鑑定を依頼しなければならない状況にある。

将来、食糧問題や家畜伝染病、人獣共通感染症の防疫、少子化、高齢化に伴い増加する伴侶動物の健康を支える高度医療の実施など、獣医師の役割の重要性や必要性が言われる中、全国9ブロックの中で四国地区にはその養成を行う高等教育機関がない。

第5 今治市に大学獣医学部の設置を！

3 今治市に獣医学部を立地する意義

こうしたことを踏まえ、構造改革特区提案を行っているが、その意義は以下のとおりである。

- 1) 四国ブロックの高校生が獣医師を志向する場合において、他の地域の高校生と同じ条件で、進学に臨むことができるようになり、教育の機会均等に資する。
- 2) 四国ブロックは、獣医師養成機関空白地域であり、将来的にも獣医師不足が予測されている四国地域において、大学獣医学部を設置することで、適切な獣医師の供給が可能になる。
- 3) 今治市に大学獣医学部を設置することで、約40年間にわたって定員増が行われなかった獣医師養成に、SARSや高病原性鳥インフルエンザといった新しい家畜伝染病等への対応など時代の要請する人材育成を行い、四国及び周辺地域への獣医師の供給に寄与する。

四国で最大級の愛媛大学にとっても地元で大学獣医学部が設置されることは、生命科学分野の研究において一層の進展が望めることから、同大学からは研究者の交流など積極的な協力体制を築くことを内諾していただいている。これにより、県内における生命科学分野の教育・研究の進展が図れるとともに、ひいては、多くの若者に夢を与えることになる。

- 4) 大学の研究室と家畜保健衛生所、動物病院の開業医等が連携することで、迅速かつ正確な病性鑑定が可能になり、四国及び周辺地域の動物医療の発展に資するとともに、大学獣医学部の附属病院ができることで、四国ブロックにおける動物の高次医療の展開が可能になる。
- 5) 地方都市の衰退が言われる中、また、少子化が進む中、大学設置の地の利が厳しい今治市に地域限定の特区内で大学獣医学部を設置することにより、地元の若者の定着を図るとともに、全国から優秀な若者を集め、地域再生を図る。

さらに愛媛県全体からみた広域的見地から次のような効果が期待できる。

- 6) 全国でも低位にある県内大学への進学率や大学の収容力が向上し、若者の県外流出を抑止することができる。

大学進学者の内、県内大学への進学率29.4%（全国平均30.9%） 大学収容力指数（大学入学者／大学進学者×100 59.7（全国36位）
--

- 7) 中四国有数の畜産県である愛媛県にとって課題となっている獣医師の安定的な確保が図られ、愛媛県の畜産振興につながる。

愛媛県の畜産物出荷額 310億円（中四国3位・全国29位） うち 豚 118億円（中四国1位・全国16位）
--

- 8) 松山市への一極集中が進む中、県下第2の都市である今治市における高次都市機能が強化され、県土の均衡ある発展に資する。

第5 今治市に大学獣医学部の設置を！

4 構造改革特別区域計画の目標

- 1) 大学獣医学部の設置で、四国ブロックにおける高校生の獣医師志願の際の機会均等に資する。
- 2) 大学獣医学部設置の6年後から獣医師を毎年100人以上供給し、供給不足が予測されている四国地区における獣医師の需給の均衡を図る。
- 3) 時代に即した新しい人材を養成し、新たな伝染病や人獣共通感染症、養殖漁業等の分野での研究活動等に寄与する。
- 4) 大学獣医学部設置で、愛媛大学との生命科学分野での連携を構築し、より高い教育水準の獣医師養成を図る。
- 5) 四国ブロックにおける動物の高次医療を可能にし、家畜保健衛生所や動物病院の医療水準の向上に資する。

5 獣医学部の誘致が及ぼす経済的社会的効果

- 1) 獣医師養成系大学への進学を志向する地元の高校生の志望通りの進学に寄与することができる。
- 2) 大学獣医学部設置の6年後から獣医師を毎年100人以上養成することができ、地元進学者等が卒業後、地域に定着することで四国地区における獣医師の需給の均衡が図られる。
- 3) 時代に即した新しい獣医師像に即した人材を養成し、新型の家畜伝染病や人獣共通感染症、養殖漁業等の分野で活躍することが可能になる。
- 4) 大学獣医学部の設置で人口減少を緩和し、優秀な若者が今治市で暮らすことにより地域の活力の増進に寄与する。
- 5) 大学獣医学部の設置で学生や教職員による生活需要やその波及効果による経済効果で地域再生を図る。
- 6) 大学獣医学部の設置を核として、関連する企業等の誘致を促進する。

6 今治市に大学獣医学部の設置を！

「平成12年度以降の大学設置に関する審査の取扱方針」（大学設置・学校法人審議会大学設置文科会長決定）における「大学、学部の設置及び収容定員増については、抑制的に対応する」とされていたが、平成14年8月5日の「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」の中央教育審議会の答申を受け、平成15年には大学設置の抑制方針が撤廃された。

しかしながら医師、歯科医師、獣医師、船舶職員の養成については抑制が継続している。これは平成15年6月19日文科省告示第116号 改正 第1条第2項に記載されている。

このようなことから、このたび構造改革特区制度に基づき、愛媛県今治市に獣医学部の設置を行えるよう、入学定員の規制緩和を求めるものである。

大学獣医学部（科）の誘致に関する意識調査

性別（男・女）

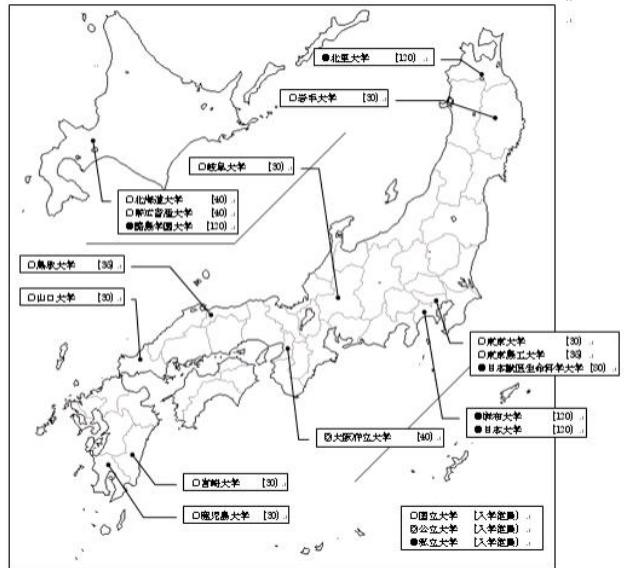
今治市では、獣医師を養成する大学の誘致に取り組んでいます。

しかし、大学の獣医学部（科）は、約40年間学生の定員が規制され、新しい大学の設置や定員の増員が認められていないため、右図のように930人の定員の内、765人（82%）が関西以北に設置され、西日本には国公立のみの165人分しか定員がありません。また、四国や瀬戸内海沿岸地域には1校もない状況です。

今治市では、こうした規制の解除をお願いするため、愛媛県と共同で構造改革特区^注申請を行おうと考えています。

そこで、将来進学を希望する高校生の皆さんに大学の獣医学部（科）に関するご意見をお聞きし、誘致活動に反映させたいと考えていますのでアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。 今治市企画課政策研究室 50898-36-1503

獣医学科設置状況マップ



注) 構造改革特区とは！ 構造改革特別区域は、地方公共団体が地域の活性化を図るために自発的に設定する区域であり、認定された特区では、規制の特例措置の適用を受けた事業を実施することができます。

1. あなたは、獣医師についてどのように思われていますか？

(どれか一つに○印をつけてください。以下同じ。)

- () 動物病院などでペットの病気を治す素敵な仕事だと思う。
- () 家畜の病気や伝染病を治し、安全な畜産物を守る大切な仕事だと思う。
- () 動物の生命を通して色んな分野が拓ける興味深い仕事だと思う。
- () 国・県庁や製薬会社、食品会社などで役立つ有効な資格だと思う。
- () あまりよく知らない。
- () わからない。

2. あなたは、将来、獣医学部（科）に進んでみたいと思いますか？

- () 獣医師を目指して獣医学部（科）に進みたい。
- () 獣医学部（科）に進んでみたいけど志願倍率が高くて難しいと思う。
- () 獣医学部（科）に進んでみたいけど遠くの大学しかないの難しいと思う。
- () 獣医学部（科）に興味はあるけどあまりよくわからない。
- () 特に獣医学部（科）に進みたいとは思わない。

3. あなたの進路の希望について教えてください。

() 進学を希望する。(以下の分野についてもお答えください。)

- | | |
|--------|--|
| 分
野 | () 人文科学系統 (文学・語学・史学・地理学・哲学・心理学・文化など) |
| | () 社会科学系統 (法律・政治・経済・経営・商学・社会学・国際関係など) |
| | () 家政・生活科学系統 (家政・生活科学・食物学・住居学・児童学など) |
| | () 教育系統 (教育学・教員養成・体育学など) |
| | () 芸術系統 (美術・デザイン・音楽など) |
| | () 理学系統 (数学・物理学・化学・生物学・地学など) |
| | () 工学系統 (機械工学・電気通信・土木・建築・応用化学・デザイン工学など) |
| | () 医学系統 (医学・歯学・薬学など) |

第6 資料

- () 農学系統（農学・農芸化学・農業工学・農業経済・森林学・畜産・水産など）
 () 農学系統（獣医学）
 () 進学を希望しない。

4. あなたは、進学先をどのような条件で選択しようとしていますか？（複数回答可）

- () 希望する分野の学部がある。
 () 自宅から近い。
 () 大都市に立地あるいは住んでみたい地域に立地している。
 () 学費が安い。（経済的理由）
 () 入学の難易度が適している。

5. 今治市では、1学年の定員が約120名で、最新の設備と教育水準の高い私立大学の誘致を検討しています。国の規制が解除され、獣医学部（科）の誘致が実現するとしたら、あなたは、どのように思われますか。

- () 今治市に大学の獣医学部（科）ができるなら、入学したい。
 () 今治市に大学の獣医学部（科）ができるなら、受験してみたい。
 () 今治市に大学の獣医学部（科）ができるなら、進路について考えてみたい。
 () 今治市に大学の獣医学部（科）ができてあまり関係ない。

6. あなたは、今治市が大学獣医学部（科）を誘致したらどのようなメリットがあると思われますか。

- () 愛媛県内に新しい大学ができ、進路の選択肢が増えるのでうれしい。
 () 遠くに行かなければならなかった獣医学部（科）が近くにできるのでうれしい。
 () 獣医学部（科）の定員が増えることになるのでうれしい。
 () 今治市に大学獣医学部（科）ができてあまり関係ない。

7. あなたは、今治市に大学獣医学部（科）ができるとしたら、どのようなことを望みますか？

- () 新しい大学なので最新の設備を備えた立派な大学にして欲しい。
 () サーズや鳥インフルエンザといった新しい家畜伝染病にも対応できる高い水準の研究をして欲しい。
 () 愛媛県は水産業が盛んなので、魚病学など特色のある分野の研究をして欲しい。
 () 愛媛大学や松山大学など他の大学とも連携して研究対象がいくつかの学問領域にまたがる学際的研究を行って欲しい。
 () 授業料や下宿などの面で、学生の利便の向上を図って欲しい。
 () 特になにも望まない。
 () わからない。

8. 獣医師や獣医学、また大学の獣医学部（科）等についてのご意見やご感想があれば自由に記入してください。

9. このアンケートや今治市の取り組みについて言いたいことやご要望があれば自由に記入してください。

* ご協力ありがとうございました。

第6 資料

【回答用紙】

高校名 _____

高等学校 _____

◎以下の問いについてご意見をお聞かせください。

◎進路指導担当教諭様をご記入ください。

1. 貴高校における獣医学部（科）への進学希望はどのくらいありますか？

- 毎年、() 人位が進学している。
- 毎年ではないが、多い年は() 人、少ない年は() 人位が進学している。
- 進学希望はあるが実際に進学する生徒はほとんどいない。
- 獣医学部（科）への進学希望はほとんどない。

2. これまで、獣医学部（科）への進学を希望しながら断念した例はありますか？

- 毎年、何人かが断念している。
- 毎年ではないが、何年かおきに断念する事例がある。
- そういう事例はほとんどない。

3. 問い2の事例がある場合、進学を断念する主な理由は何ですか？（多い順に順位を記入してください。）

- 近在に獣医学部（科）のある大学がないから。（遠すぎるから。）
- 入学志願倍率が高く、入試に合格することが困難だから。
- 6年制であり、就学期間が長いから。
- 6年制であり学費等が嵩むから。（経済的理由）
- その他 ()

4. 今治市に大学の獣医学部（科）が設置されると県内の高校生の進学希望はどのように変化すると
思われますか？ご意見やご感想を自由に記入してください。

5. このアンケートや今治市の取り組みについてどのように思われますか？ご意見やご感想を自由に
記入してください。

* ご協力ありがとうございました。

第6 資料

◎高校進路指導担当教諭の自由意見

「このアンケートや今治市の取り組みについてどのように思われますか？」という問いに対して得られた自由な意見や感想は以下のとおりであった。

(代表的な意見を抜粋、順不同)

- ・大学全入時代の今日本当に特徴のある大学でないと有能な学生は集まらないと考えます。
- ・広く意見を公募し、施策に生かそうとする取組はぜひ続けていただきたい。懸念事項として、大学が立地する地域が、どう大学と連携できるのかという姿が見えにくい。今治圏域は養鶏については聞くが、畜産等についてはあまりイメージがない。従って、地域の現場に出向いての実習の充実度や緊密度についてどうなるのか見えてこない。そういった点も含めて先行する他の大学(獣医学部)よりも魅力ある情報(内容)を提供し、生徒たちを引きつける方策が必要だと感じている。
- ・地域活性化のためには良いと思います。
- ・大学の概要が分からない状況ではコメントできません。本校では志望者は減少傾向にあり、受験層としては下位の生徒であるのが現状です。本校生徒の中位以上では、全く変化ないと思います。
- ・少子化で大学の入試倍率が低下し、新設学部、新設大学は反面増加しています。経営が困難な大学が生徒募集に苦労しているようです。
- ・獣医を本気でめざす者は少ないのでは・・・と思います。
- ・やめた方がいい。
- ・獣医学部に関心を持ったことがないので近くにできたらどうなるかは考えたことがなかった。今までなかったものを設置しようという取り組みはよいと思うが成功するかどうかは難しいと思う。
- ・教育(人づくり)に対して、熱心に取り組んでおられると思います。地元貢献できる人材の育成を更にお願致します。
- ・高知工科大学は段々と入学希望者が減少してきているとききます。税金を投入してまで獣医学部を誘致する市民の承認を得ていくことが何よりも大切だと思います。
- ・進学し、地元に残る可能性が高まるので、たいへんすばらしい取り組みであると思います。
- ・なぜ獣医学部なのか意図が見えない。
- ・これからの「食」を考えなければならない時代が来たようにも思いますので、おもしろいのではないのでしょうか。
- ・実現不可能だと思われる。松山大学薬学部のときもやめた方がいいと思っていた。やはり、この取組もやめた方がいいと思う。
- ・高校側の意見を聞いてもらえるのはありがたいと思う。
- ・前向きで、四国内にない学部で新設は望ましいが、少子化の影響で受験生は減少傾向にあり獣医学部ということになれば敷地の確保など不安な面もあると思う。
- ・地域の活性化にとって良い事だと思う。又、県内他大学の刺激にもなり、地元大学がもっと元気になれば良い。
- ・新産業都市など企業誘致やこのような大学設置により活性化を目指す姿勢は良いと思う。一方で、
- ・従来からある産業も育成することを忘れてはいけない。

第6 資料

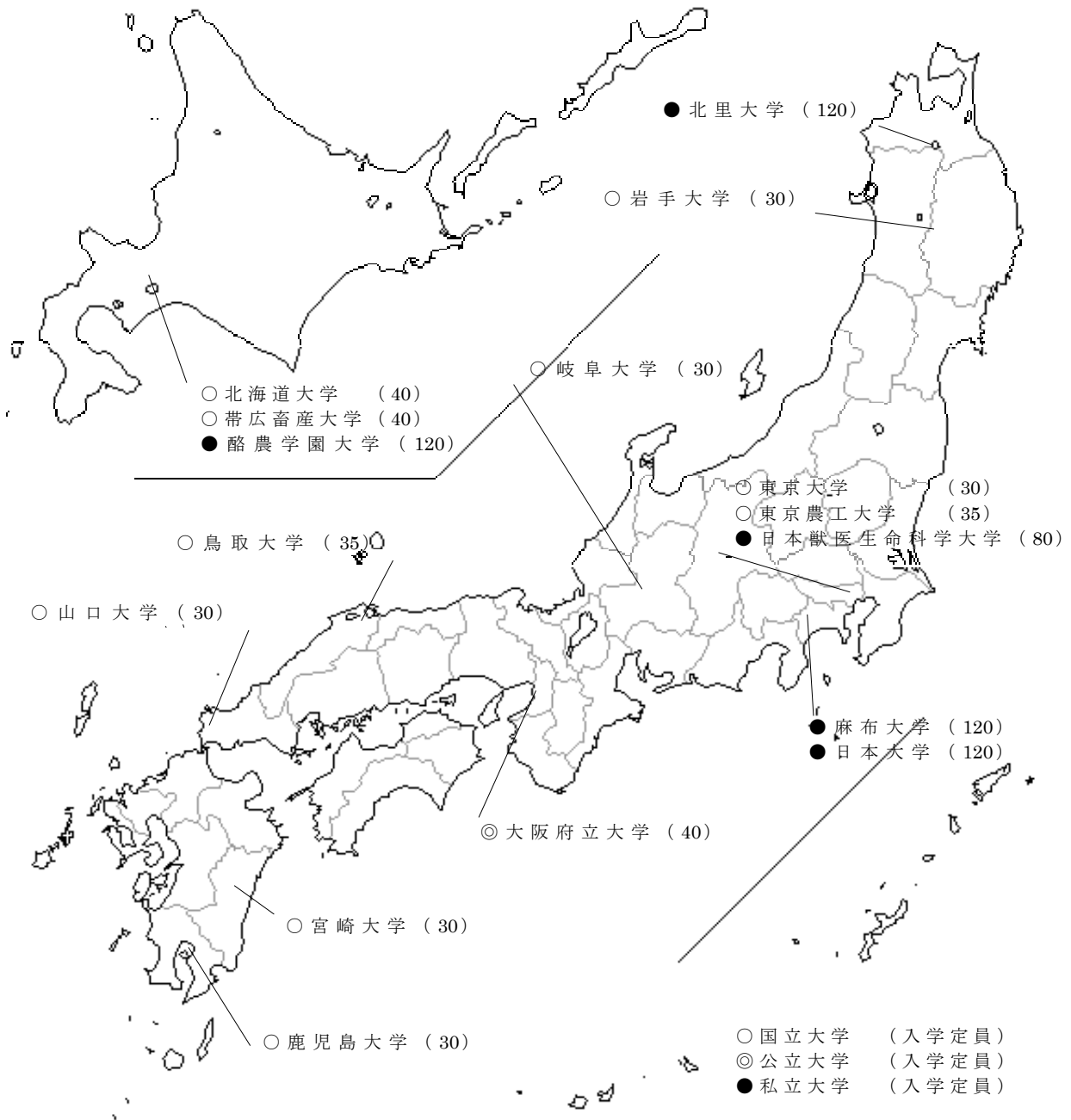
- ・実状を把握するにはよい方法だと思う。ある程度見込みが立ってから実行に移して、数年で廃校することのないようがんばってほしい。
- ・県下高校生の進路選択の道を広げることができ喜ばしいことと考えます。
- ・一般の入試となると本校の生徒には難しいので、特別な入試方法も検討して頂けると嬉しいです。
- ・大学獣医学部があれば地方都市の文化的向上につながる。市の取り組みについて理解できる。
- ・あまり魅力的には感じれません。
- ・要望が多ければ必要だが、アンケートの結果次第である。今治市がその予算を使って設置する都市であるかどうか疑問である。四国に一つあれば良いと思うがそれであれば大きな都市に設置する方が良いと思う。
- ・近辺に大学ができるのはありがたい。地域の大学として、密接な関係を作ってってもらいたい。
- ・倍率が高く人気があることはわかるが、本当に獣医がたくさん必要なかわからない。また、獣医大病院などができたとしたら、その場合まわりの病院などがどうなるのかも気になる。信頼している”町医者”がいなくなるようなことがないようにしていただけたらありがたいと個人的には思う。
- ・瀬戸内海沿岸地域の中核となり得る立地ですが、大学自体が現在少子化で多くの問題をかかえているため、新都市開発整備の主たる事業に大学誘致を行うのは、課題が多いと思う。
- ・県内では他に例を見ない取り組みなので注目している。松山大の薬学部のように苦労しないように前もった準備・工夫が相当必要だろうと思われる。
- ・四国に獣医学部を設置するニーズは理解できるものの維持していくのは困難と考えます。
- ・生徒にとっては県内の進学先として、選択肢が増えることになる。ぜひ誘致を実現して欲しい。
- ・愛媛県内に大学を誘致する取り組みには、地域活性化の一つとして好ましい取り組みだと思う。
- ・地元の活性化等にもよい影響があると思います。
- ・地方行政の緊縮財政を勘案しますと、大学・学部の誘致は勇気ある取り組みだと賞賛されます。ただ、市民の方々との賛同が得られるかどうか…。獣医よりも地場産業に関連した大学・学部の方が良いのではと、無責任な意見ですが、そう思います。
- ・前向きな取り組みではあると思うが、少子化が進行している今難しいのではと思う。
- ・松山大学の薬学部のようになってもいけないと思う。よく希望や進学先として考えられるなど、十分に考えアンケート等をとった上でしていただければいいのではないのでしょうか。
- ・多くの声を聞き、よりよい形での取り組みを期待しています。
- ・財政が厳しい折に、十分な教育が提供できるのか期待しています。
- ・大学の誘致は市に大きな変化をもたらすと思います。市民を巻き込んだ議論をして頂きたい。
- ・積極的な取組みであり、九州・中国・近畿地方の学生を取り込めば、成功すると思う。
- ・大学が市内に1つあると町全体が活気付くのでぜひ誘致してほしい。
- ・目の付け所はよいと思う。都市部では獣医を志す者も多いと思うので、そのあたりでニーズがあるのではないかと思う。
- ・趣旨は理解できますが、少子化、理系離れの状況、さらに松山大学薬学部の現状から地方の新設大学が優秀な人材で定員を確保するのは難しいのではないかと思います。
- ・取組み自体は大変ご熱心なものと思いますが、例年獣医学部への進学希望がある高校を事前調査され、そういう高校にしぼってアンケートなされた方が実があがると思います。
- ・いろいろな方角にアンテナを広げ、市民や県民のニーズを把握し、実践しようとする前向きな姿勢はとても参考になります。

第6 資料

- ・大変よい。その他の学部についても検討が可能か？
- ・すばらしい試みだと思う。協力しますので努力を続けてほしい。
- ・このようなアンケートを直接関係する学年の生徒に行うことは、大変有効なことだと思います。また、今治市の取り組みも積極的でいいと思います。ただ、今回の新学部の設置は、中・長期的に愛媛県に根ざさないと意味を失ってしまいますので十分な議論が必要であると思われます。
- ・愛媛県は保守的な県であるといわれるので、このような前向きな計画には賛成です。いろんな問題もあると思うが、頑張してほしいと思います。アンケートの対象が高1の現段階では将来の進路のことはそこまで考えていないと思います。むしろ高3対象のほうがデータとしてよいのではないでしょうか。
- ・今治市は海事都市を推進しているが、またこのような分野の誘致は海事技術関連大学と競合を避けなければならないと考える。
- ・地域の活性化という面ではよい取り組みであると考えます。学費補助の制度を充実するのが重要ではないかと思う。
- ・地域活性・進学学生への利便性を考えると、今治地区に当該学科を誘致することは賛成である。魅力ある計画である。
- ・アンケートによって、動向を示していただき、将来どのような進路を望んでいる生徒が多いかを調査する上で、貴重な資料になると思います。期待しています。
- ・前向きな取り組みであると評価します。

(参考) 獣医師養成系大学の偏在

獣医学科設置状況マップ



<p>全国930人の定員の内、西日本は165人 (17.7%)、東日本は765人 (82.3%)</p> <p>西日本の獣医学部 (学科) は国公立のみで私学は一つもない。</p> <p>四国ブロック、北陸ブロックには獣医師養成系大学が1校もない。</p>
--

第6 資料

(参考資料) 平成19年度の獣医学科の志願者動向

設	学校名	入学定員	募集人員	志願者数	志願倍率
国立	北海道大学	40	40	286	7.2
国立	帯広畜産大学	40	40	317	7.9
私立	酪農学園大学	120	116	2,499	21.5
私立	北里大学	120	120	3,094	25.8
国立	岩手大学	30	30	184	8.1
国立	東京大学(理Ⅱ)	(30)	(-)	(-)	(-)
国立	東京農工大学	35	35	496	14.2
私立	日本獣医生命科学大学	80	80	2,578	32.2
私立	麻布大学	120	120	2,861	23.8
私立	日本大学	120	60	2,552	42.5
国立	岐阜大学	30	24	188	7.8
公立	大阪府立大学	40	40	482	12.1
国立	鳥取大学	35	35	330	9.4
国立	山口大学	30	30	278	9.3
国立	宮崎大学	30	30	186	6.2
国立	鹿児島大学	30	30	222	7.4

出典：旺文社 蛍雪時代2007年8月 19年入試データ

(参考資料) 獣医学部で取得可能な資格

国家資格	
獣医師	
飼料製造管理者	
資格要件が獣医師のみに限定されるもの	資格要件が原則、獣医師のみに限定されるもの
と畜検査員	家畜防疫官
狂犬病予防員	家畜防疫員
食鳥検査員	動物愛護管理員
家畜保健衛生所長、 家畜保健衛生所獣医師職員 飼育動物診療施設に配置する管理者獣医師 家畜市場に配置する検査獣医師 保健所の獣医師職員	
資格要件に獣医師が対象とされるもの	
食品衛生監視員	薬事監視員
家畜人工受精所に配置する管理者獣医師	食鳥処理場に配置する食鳥処理衛生管理者
医療機関等に配置される衛生検査技師など	
関連資格等	
実験動物1級技術者	
中学校・高等学校教諭一種免許(理科)	
学芸員	

第6 資料

構造改革特区提案申請の内容

1 要望事項（事項名）

獣医師養成系大学の立地の偏在を是正し、教育の機会均等を確保するため、地域を限った大学獣医学部の設置の許可

2 求める措置の具体的内容

平成15年3月31日文科省告示第45号「大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取り扱いに関する基準」による獣医師の定員増の規制の地域解除

3 具体的事業の実施内容・提案理由

（具体的事業の実施内容）

都市再生機構、今治市及び愛媛県が行う今治新都市開発整備事業により整備した高次都市機能用地に、学校法人が獣医師養成系大学を設置することで、獣医師を志望する四国や西日本の高校生の教育機会を高めるとともに、将来の四国ブロックにおける獣医師の不足を解消し、大学を核とした地域再生を果たしたい。

（提案理由）

獣医学部（科）は、これまで約40年間新設されておらず、全国930人の定員の内、西日本には国公立大学の165人しか割り当てがなく、四国には1つも獣医学部がない。このため、四国の高校生が獣医師を志望する場合は、遠隔地の大学に進学を余儀なくされ、経済的な負担も嵩むことから、東日本の高校生に比べ不利な状況にあることがアンケートで確認された。また、四国に獣医師養成系大学がないことは、農林水産省が昨年5月に公表した「獣医師の需給に関する検討会報告書」で四国は産業系、小動物系とも将来の需要に対する供給が不足するとされた要因になっていると考えられる。そうした中で、現在、文部科学省が定員増を規制している獣医学部の設置を今治市において認めて頂ければ、教育の機会均等に寄与するとともに、地域の再生を図ることが可能になる。懸念されている定員増に伴う獣医師の質の低下についても全国的な規制緩和でなく特区での限定的な定員増であればあまり影響はないものと考えられるし、地元獣医学部があることで、新興の動物の伝染病等に迅速かつ専門的な対応が可能になるとともに、動物医療の推進や高次医療の展開に貢献できる。今治市及び愛媛県は、大学誘致で教育の機会均等と地域再生を図り、将来の四国地域における獣医師の需給の均衡に寄与する特区を提案する。

4 根拠法令等

平成15年3月31日文科省告示第45号「大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取り扱いに関する基準」

5 制度の所管・関係官庁

所管：文部科学省

関係：農林水産省

第6 資料

◎ 大学、短期大学への学部別進学者数(平成15年3月卒+平成14年3月以前卒)

(1) 国・公・私立全日制・定時制高等学校

学部別 性別		教員養成		人文学		法学		商経		理学		工学		農・獣医・ 畜産		医学			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
全 日 制	普通科	15年3月	71	419	278	816	240	216	883	438	125	59	844	74	69	65	44	36	
		14年3月以前	20	7	31	32	43	12	126	19	29	5	115	10	19	5	48	14	
	農業科	15年3月	5	9	1	4		1	10	1			10		13	5			
		14年3月以前							1										
	工業科	15年3月	2	4	2	1	5		28	1			138	3		1			
		14年3月以前			1				2				2						
	商業科	15年3月	2	35	9	33	15	18	196	126			3						
		14年3月以前			1		2	3	4	1									
	水産科	15年3月			1								1		2	1			
		14年3月以前																	
	家庭科	15年3月		9	1	2			1										
		14年3月以前																	
	看護科	15年3月																1	2
		14年3月以前																	
	総合 学科	15年3月	2	42	14	17	6	1	33	10	1	1	12	2	13	11		1	
		14年3月以前				2			4										
	その他	15年3月	3	6	3	3	5	1	2	7	8	1	21	3	2	6		4	
		14年3月以前					4				3		4		1		1		
計	15年3月	85	524	309	876	271	237	1,153	583	134	61	1,029	82	99	89	45	43		
	14年3月以前	20	7	33	34	49	15	137	20	32	5	121	10	20	5	49	14		
定 時 制	普通科	15年3月	1	2	3		3	2	2	1									
		14年3月以前				1													
	農業科	15年3月																	
		14年3月以前																	
	計	15年3月	1	2	3		3	2	2	1									
14年3月以前				1															
合計	15年3月	86	526	312	876	274	239	1,155	584	134	61	1,029	82	99	89	45	43		
	14年3月以前	20	7	33	35	49	15	137	20	32	5	121	10	20	5	49	14		
	計	106	533	345	911	323	254	1,292	604	166	66	1,150	92	119	94	94	57		

第6 資料

学部別 性別		歯・薬学		保健		商船		家政		芸術		体育		外国語		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
課程学科別卒業年次																
全日制	普通科	15年3月	45	67	59	193	9		8	380	34	80	24	39	31	96
		14年3月以前	25	20	12	18				9	6	7	4			4
	農業科	15年3月							1	13		1				
		14年3月以前														
	工業科	15年3月			3		1		1	7	2	9	2		2	
		14年3月以前				1						1			1	
	商業科	15年3月			1	3				47	2	2	3		1	4
		14年3月以前							1							
	水産科	15年3月														
		14年3月以前														
	家庭科	15年3月							2	6						1
		14年3月以前														
	看護科	15年3月				34				1						1
		14年3月以前														
	総合 学科	15年3月	1			1				15	1	4	4			2
		14年3月以前			1											
	その他	15年3月	3	3		13				5		23				4
		14年3月以前	1		1											
	計	15年3月	49	70	63	244	10		12	474	39	119	33	39	34	108
		14年3月以前	26	20	14	19			1	9	6	8	4		1	4
定時制	普通科	15年3月				1			1							
		14年3月以前														
	農業科	15年3月								1						
		14年3月以前														
計	15年3月				1			1	1							
	14年3月以前															
合計	15年3月	49	70	63	245	10		13	475	39	119	33	39	34	108	
	14年3月以前	26	20	14	19			1	9	6	8	4		1	4	
	計	75	90	77	264	10		14	484	45	127	37	39	35	112	

第6 資料

学部別 性別 課程学科別卒業年次		その他(左の分類以外)														合 計			
		(総合科学)		(教養)		(国際関係)		(秘書)		(人間関係)		(人文社会科学)		(その他)		男	女	計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
全 日 制	普通科	15年3月	15	18	6	16	8	28		61	23	29	25	38	28	62	2,869	3,230	6,099
		14年3月以前	1	1		1	1	2		1	5	2	1	1	2	3	488	173	661
	農業科	15年3月								2			1		2	14	43	50	93
		14年3月以前															1		1
	工業科	15年3月						1		1						4	186	32	218
		14年3月以前															6	2	8
	商業科	15年3月	1	1		2		1		12	1	2	1	2			235	288	523
		14年3月以前															8	4	12
	水産科	15年3月															4	1	5
		14年3月以前																	
	家庭科	15年3月								1						1	5	19	24
		14年3月以前																	
	看護科	15年3月															1	38	39
		14年3月以前																	
	総合 学科	15年3月	1							4	1		1	1			90	112	202
		14年3月以前															5	2	7
	その他	15年3月								1		2	1	2	4	4	52	88	140
		14年3月以前															15		15
計	15年3月	17	19	6	18	8	30		82	25	33	29	43	35	84	3,485	3,858	7,343	
	14年3月以前	1	1		1	1	2		1	5	2	1	1	2	3	523	181	704	
定 時 制	普通科	15年3月											1			10	7	17	
		14年3月以前																1	1
	農業科	15年3月																1	1
		14年3月以前																	
	計	15年3月												1	1		11	8	19
14年3月以前																	1	1	
合計	15年3月	17	19	6	18	8	30		82	25	33	29	44	36	84	3,496	3,866	7,362	
	14年3月以前	1	1		1	1	2		1	5	2	1	1	2	3	523	182	705	
	計	18	20	6	19	9	32		83	30	35	30	45	38	87	4,019	4,048	8,067	

資料：平成15年度大学進学調査結果資料(愛媛県教育委員会教育総務課)

第6 資料

意識調査配布先高等学校一覽

高等学校名	学科名	定員	住所	電話番号
国立高等学校				
・愛媛大学農学部付属農業高等学校	総合科学	120	松山市樽味3-2-40	089-946-9911
公立高等学校				
(東予地方)				
・愛媛県立今治北高等学校	普通	200	今治市宮下町2-2-14	0898-32-2200
・愛媛県立今治北高等学校 大三島分校	普通	40	今治市大三島大字宮浦5297-2	0897-82-0030
・愛媛県立今治西高等学校	普通	320	今治市中日吉町3-5-47	0898-32-5030
・愛媛県立今治東高等学校	普通	160	今治市桜井2-9-1	0898-47-3630
・愛媛県立今治南高等学校	普通・園芸	280	今治市常盤町7-2-17	0898-22-0017
・愛媛県立川之江高等学校	普通	320	四国中央市川之江町2257	0896-58-2061
・愛媛県立小松高等学校	普通	120	西条市小松町新屋敷乙42-1	0898-72-2731
・愛媛県立西条高等学校	普通	240	西条市明屋敷234	0897-56-2030
・愛媛県立西条農業高等学校	生物科学	40	西条市福武2093	0897-56-3611
・愛媛県立丹原高等学校	普通	120	西条市丹原町願連寺163	0898-68-7325
・愛媛県立土居高等学校	普通	160	四国中央市土居町中村892	0896-74-2017
・愛媛県立東予高等学校	普通	40	西条市周布650	0898-64-2119
・愛媛県立新居浜西高等学校	普通	320	新居浜市宮西町4-46	0897-37-2735
・愛媛県立新居浜東高等学校	普通	320	新居浜市東雲町2-9-1	0897-37-0149
・愛媛県立新居浜南高等学校	総合学科	120	新居浜市篠場町1-32	0897-43-6191
・愛媛県立伯方高等学校	普通	80	今治市伯方町有津甲2358	0897-72-0034
・愛媛県立三島高等学校	普通	240	四国中央市中央5-11-30	0896-23-2136
(中予地方)				
・愛媛県立伊予高等学校	普通	360	伊予郡松前町北黒田119-2	089-984-9311
・愛媛県立伊予農業高等学校	生物工学	40	伊予市下吾川1433	089-982-1225
・愛媛県立小田高等学校	普通	80	喜多郡内子町寺村978	0892-52-2041
・愛媛県立上浮穴高等学校	普通	40	上浮穴郡久万高原町上野尻甲486	0892-2-1205
・愛媛県立東温高等学校	普通	240	東温市志津川960	089-964-2400
・愛媛県立中山高等学校	普通	40	中山町出淵2-105-10	089-967-0033
・愛媛県立北条高等学校	総合学科	280	松山市北条辻600-1	089-993-0333
・愛媛県立松山北高等学校	普通	400	松山市文京町4-1	089-925-2161
・愛媛県立松山北高等学校 中島分校	普通	40	松山市中島町大浦3100-1	089-997-0031
・愛媛県立松山中央高等学校	普通	400	松山市井門町1220	089-957-1022
・愛媛県立松山西高等学校	普通	160	松山市久万ノ台甲1485-4	089-922-8931
・愛媛県立松山東高等学校	普通	400	松山市持田町2-2-12	089-943-0187
・愛媛県立松山南高等学校	普通	360	松山市末広町11-1	089-941-5431

第6 資料

高等学校名	学科名	定員	住所	電話番号
(南予地方)				
・愛媛県立三崎高等学校	普通	80	西宇和郡伊方町三崎511	0894-54-0550
・愛媛県立川の石高等学校	総合学科	120	八幡浜市保内町川の石1-112	0894-36-0550
・愛媛県立長浜高等学校	普通	80	大洲市長浜町長浜甲480-1	0893-52-1251
・愛媛県立三瓶高等学校	普通	80	西予市三瓶町津布理3463	0894-33-0033
・愛媛県立八幡浜高等学校	普通	160	八幡浜市松柏丙654番地	0894-22-2570
・愛媛県立内子高等学校	普通	120	喜多郡内子町甲1855-1	0893-44-2105
・愛媛県立大洲高等学校	普通	160	大洲市大洲737	0893-24-4115
・愛媛県立野村高等学校	普通・畜産	120	西予市野村町阿下6-2	0894-72-0102
・愛媛県立宇和高等学校	普通・生物工学	160	西予市宇和町卯之町4-190-1	0894-62-1321
・愛媛県立宇和島東高等学校	普通	160	宇和島市文京町1-1	0895-22-0261
・愛媛県立宇和島南高等学校	普通	160	宇和島市文京町5-1	0895-22-0262
・愛媛県立吉田高等学校	普通	80	宇和島市吉田町北小路甲10番地	0895-52-0565
・愛媛県立津島高等学校	普通	120	宇和島市津島町高田2469-1	0895-32-2304
・愛媛県立北宇和高等学校	普通	80	北宇和郡鬼北町近永942	0895-45-1241
・愛媛県立北宇和高等学校 日吉分校	普通	80	北宇和郡鬼北町上大野405	0895-44-2230
・愛媛県立三間高等学校	普通	40	宇和島市三間町戸雁764-3	0895-58-2031
・愛媛県立南宇和高等学校	普通	200	南宇和郡愛南町御荘平城3269	0895-72-1241
私立高等学校				
・愛光高等学校(学校法人愛光学園)	普通	250	松山市衣山5-1610-1	089-922-8980
・今治精華高等学校	普通	120	今治市中日吉町2-1-34	0898-32-7100
・今治明德高等学校	普通	460	今治市北日吉町1-4-47	0898-22-6767
・今治明德高等学校矢田分校	普通	50	今治市阿方壺丁地甲287	0898-22-6767
・済美高等学校(済美平成中等教育学校)	普通	685	松山市港町7-9-1	089-943-4185
・聖力タリナ女子高等学校	普通	400	松山市永代町10-1	089-933-3291
・新田高等学校(新田青雲中等教育学校)	普通	280	松山市山西町663	089-951-0188
・松山聖陵高等学校	普通	220	松山市久万ノ台1112	089-924-8783
・松山城南高等学校	普通	120	松山市北久米町815	089-976-4343
・帝京第五高等学校	普通	210	大洲市新谷甲233	0893-25-0511
・帝京第五高等学校 富士校(富士中学校)	普通	90	大洲市柚木947	0893-24-6335

a proposal
大学獣医学部の誘致に関する意識調査結果について
—愛媛県内高校1年生の進路に関する意識を分析する—

2008年9月

発行 今治市企画振興部企画課政策研究室
〒794-8511今治市別宮町1丁目4番地1
(電話番号0898-36-1503 fax番号0898-22-3441)
E-mail kikaku@imabari-city.jp

(無断転載・複製を禁じます。)